

平成31年2月定例会

議案説明資料 予算に関する説明書

(平成31年度当初予算関係)

観光交流局

*各事業の説明資料の「本年度」の欄は来年度の当初計上額
「前年度」の欄は今年度の当初予算額
「比較」の欄は「本年度」－「前年度」の額

*トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

また、人役については、表示単位未満を四捨五入で表示しており、結果が0.0人役となるものについては、人件費を0としています。

平成31年2月定例会 議案説明資料目次

観光交流局

【予算関係】

(一般会計)

議案番号	件名	課名等	頁
第 1 号	平成31年度鳥取県一般会計予算		
	1 当初予算説明資料	(総括表)	1
		観光戦略課	2
		交流推進課	4 2
		まんが王国官房	5 5
	2 歳入歳出事項別明細書		6 0
	3 節の明細		6 2
	4 債務負担行為に関する調書	観光戦略課他	6 5

課名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫 支出金	起債	その他	一般財源	
観光戦略課	1,773,181	1,903,070	△129,889	51,380	139,000	16,712	1,566,089	
交流推進課	421,599	423,695	△2,096	10,067		44,980	366,552	
まんが王国官房	146,510	162,888	△16,378			8	146,502	
合計	2,341,290	2,489,653	△148,363	61,447	(45,600) 139,000	61,700	2,079,143	県費負担額 2,124,743

平成31年度の主な事業

(観光戦略課)

- ・「空の駅」化による観光誘客促進事業 20,760千円
- ・国際航空便就航促進事業 32,100千円
- ・(新)鳥取西道路開通観光情報発信事業 19,705千円
- ・世界に誇れる「星取県」ブランド化推進事業 4,000千円
- ・旅情あふれる「鳥鉄の旅」創造事業 13,267千円
- ・サイクリストの聖地鳥取県整備事業(サイクルツーリズム推進事業) 5,760千円
- ・(新)DBSクルーズフェリー就航10周年記念利用促進事業 2,000千円
- ・東アジア市場誘客事業 89,857千円
- ・台湾市場誘客事業 15,500千円

(中部総合事務所)

- ・中部発！スポーツツーリズム推進事業 3,000千円

(西部総合事務所)

- ・伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業 80,601千円

(交流推進課)

- ・(新)外国人総合相談センター(仮称)運営事業 20,000千円
- ・(新)江原道友好交流25周年記念事業 10,800千円
- ・(新)吉林省友好交流25周年記念事業 1,214千円
- ・(新)第25回環日本海拠点都市会議開催支援事業 3,751千円

(まんが王国官房)

- ・まんが・アニメツーリズム推進事業 34,943千円

注) 起債額の上段< >書きは、交付税措置額を除いた金額である。県費負担額は、起債額の< >書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

観光戦略課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立夢み なとタワー管 理委託費	271,942	120,867	151,075		<45,600> 139,000		132,942	県費負担 178,542
トータルコスト	273,530千円（前年度 122,456千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、指定管理料の支払、実績報告書の審査、修繕等の発注等							
工程表の政策目標 （指標）	-							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

夢みなとタワーの管理運営を指定管理者により実施する。

- (1) 指定管理者：一般財団法人鳥取県観光事業団
- (2) 指定期間：平成31年4月1日～平成36年3月31日
- (3) 指定管理料総額：622,000千円

2 主な事業内容

- (1) 指定管理料 123,492千円
- (2) 施設設備改修等 140,950千円
夢みなとタワーは施設オープンから20年が経過しており、経年劣化により機能が低下している館内設備の改修を行う。

（単位：千円）

項目	改修内容	予算額
特定天井耐震対策工事	建築基準法に適合させるための天井の耐震対策工事	124,766
電気室エアコン取替工事	経年劣化で作動に支障が発生する可能性があるエアコンの更新	13,754
エレベーターエアコン改修工事	タワー展望台エレベーターのうち冷房能力が著しく落ちた空調機（1台）の更新	2,430
合計		140,950

- (3) 「みなとまち商店街」運営委託 7,500千円
夢みなとタワー内で物産観光センターの役割を果たしている「みなとまち商店街」（運営：境港市（境港観光協会に委託））の運営費について、境港市との協定に基づき運営委託料の一部（1/2）を負担する。
・委託料の額 7,500千円
・支払の相手方 境港市

(注) 起債欄の〈 〉書きは交付税措置額を除いた額である。
県費負担額は、起債欄の〈 〉書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

観光戦略課（内線：7099）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内航空便誘客促進事業	56,100	69,400	△13,300				56,100	
トータルコスト	70,388千円（前年度 74,167千円） [正職員：1.8人]							
主な業務内容	新規旅客対策、ANAとの連携、空の駅の推進、契約関係事務（事前・事後調整含む）、イベント実施業務（事前・事後調整含む）							
工程表の政策目標（指標）	航空路線の利便性の向上等							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県内両空港を発着する航空路線の維持拡充や新規国内路線の誘致を図るため、旅行会社や航空会社等と連携して、新たな旅客の開拓を図り、国内航空便の利用拡大につなげる。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
①他空港と連携した需要拡大	2,200	(1) 但馬圏域への利用拡大に向けた取組 ・キッズエアサポート支援事業の対象を鳥取空港の利用圏域である但馬地域にも適用する。 ※但馬地域：最大1万円支援（県内：最大3万円支援） (2) 山陰地域の他空港と連携した需要拡大 ・山陰の他空港と連携した山陰周遊観光を促進させる取組（首都圏PR、旅行商品造成、周遊キャンペーン等）
②航空会社と連携した需要拡大	29,500	(1) 全日空との共同キャンペーンの実施 ・女子旅等をターゲットにした誘客プロモーション展開 (2) 国内路線新規開拓PR ・新規路線開拓に向けた国内チャーター便の就航支援や航空会社と連携した取組（機内誌でのPR等）を実施する。
③トランジットによる需要拡大	10,400	(1) 全日空グループと連携した海外からの誘客促進 ・ANA海外支店やANA総研と連携して、海外発羽田トランジットによる鳥取旅行商品の造成支援や視察ツアー等を実施する。 (2) 国内線を活用した海外からの誘客促進 ・羽田トランジットによる訪日観光客の誘客に向けた情報発信 ※タイ等の東南アジアを対象
④旅行社等と連携した観光情報発信	14,000	(1) 旅行社等と連携した情報発信 ・大手旅行社等と連携してWEBや店頭での鳥取・米子便の路線PRや鳥取観光キャンペーンを実施する。 (2) WEB旅行社連携による誘客促進 ・個人旅行者向けの施策として、大手宿泊予約サイトを活用した航空路線の利用促進キャンペーンを展開する。
合計	56,100	

3 これまでの取組状況、改善点

これまで地元官民が一体となって、航空便の利用促進、空港機能の強化、二次交通対策等の取組を継続的に実施してきた結果、平成29年度の鳥取・米子⇄羽田便の利用実績は過去最高を記録し、さらに平成30年度はそれを上回る実績で推移している。

今後も新規路線の就航を含めた両空港の航空路線の充実に向けて、空港利用圏域の拡大や新たな利用者層の開拓など一層の取組が必要である。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

観光戦略課（内線：7099）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内航空便利 利用促進事業 (利用拡大促 進)	50,586	54,986	△4,400				50,586	
トータルコスト	60,905千円(前年度 65,315千円) [正職員:1.3人]							
主な業務内容	国内航空路線の利用促進活動の実施など							
工程表の政策目標 (指標)	航空路線の利便性の向上等							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県内両空港を発着する航空路線の維持・拡充と利便性向上を図るため、両空港の利用促進懇話会等と連携し、首都圏でのPR活動や旅行商品造成の働きかけ等を行う。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	内容
①県内各空港の利用促進懇話会を通じた取組	29,095	両懇話会が取り組む航空便の利用促進事業に要する経費の一部を負担する。(路線PRイベント、ノベルティ作成、県内空港利用の旅行商品造成、販促経費の一部支援等)
②地元を中心とした航空需要拡大	4,300	空港や路線の認知度向上による誘客に繋げるため、県内に向けた情報発信を行う。
③航空便利活用支援事業	12,000	県の重点施策分野と連携した航空便利用支援を行う。 (移住定住を目的とした来県、地元ではできない経験のため航空便を利用する子ども、障がい者、介護利用等への運賃支援) (拡充) ○対象者：県内の地域づくり団体等の活動に参画する県外在住者 ○支援内容：実際に要した航空運賃の1/2(年1回・上限3万円)
④航空路線調査分析	4,500	県内航空路線の利用動向分析、国内及び国際航空業界の動向分析、航空便利用者アンケート調査等により路線誘致戦略、効果的な利用促進策等の取組に資する。
⑤検査機器保守管理等	562	県で保有する検査機器の保守点検等の委託
⑥全国地域航空システム推進協議会負担金	129	地域航空システムの調査研究を行う協議会への負担金
合計	50,586	

3 これまでの取組状況、改善点

これまで地元官民が一体となって、航空便の利用促進、空港機能の強化、二次交通対策等の取組を継続的に実施してきた結果、平成29年度の鳥取・米子⇄羽田便の利用実績は過去最高を記録し、さらに平成30年度はそれを上回る実績で推移している。

今後も新規路線の就航を含めた両空港の航空路線の充実に向けて、空港利用圏域の拡大や新たな利用者層の開拓など一層の取組が必要である。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

観光戦略課 (内線: 7099)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「空の駅」化による観光誘客促進事業	20,760	26,600	△5,840	6,230			14,530	
トータルコスト	21,554千円 (前年度 27,395千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	国内航空路線の利用促進活動の実施など							
工程表の政策目標(指標)	航空路線の利便性の向上等							

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

鳥取砂丘コナン空港における国内・国際線ターミナルビルの一体化、空港と鳥取港を結ぶ連絡道路の開通等を契機に更なる県内発着航空便の利用促進を図るため、ツインポートの特色を活かした二次交通対策や利便性向上など観光誘客に向けた取組を実施する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
①ツインポートの情報発信や魅力づくり	5,800	(1) 空港連絡バスラッピング掲出料及び各事業PR経費 (2) 空港案内機能強化 ・鳥取空港に観光・二次交通案内等を行うスタッフを配置する。 (土日祝、夏休み等2名配置) (3) 鳥取空港ならではの体験メニュー開発 ・空港や港を活かした体験メニューの開発を支援する。
②二次交通の充実	14,960	(4) 空港周遊バス支援 ・空港と鳥取港、鳥取砂丘を結ぶ周遊バスの運行を支援する。 (土日祝、3往復) (5) 空港レンタカー助成 ・県内両空港の航空便利用者に対するレンタカー割引を実施する。 (基本3,000円、外国人最大10,000円)
合計	20,760	

3 これまでの取組状況、改善点

これまで地元官民が一体となって、航空便の利用促進、空港機能の強化、二次交通対策等の取組を継続的に実施してきた結果、平成29年度の鳥取・米子⇄羽田便の利用実績は過去最高を記録し、さらに平成30年度はそれを上回る実績で推移している。
今後も新規路線の就航を含めた両空港の航空路線の充実に向けて、空港利用圏域の拡大や新たな利用者層の開拓など一層の取組が必要である。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

観光戦略課 (内線: 7629)

3目 交通対策費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便就航促進事業	32,100	11,250	20,850				32,100	
トータルコスト	43,213千円 (前年度 22,373千円) [正職員: 1.4人]							
主な業務内容	チャーター便誘致に係る航空会社との連絡・調整等							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

外国人観光客増加による県内観光消費の伸長と、本県観光産業のさらなる発展のため、県内空港利用によるチャーター便を活用したツアーやチャーター機着陸料等の支援など、東アジア地域等からの国際チャーター便の誘致活動に取り組む。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容				
「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援	16,350	区 分	航空会社	旅行会社		
		対 象	-	インバウンド	アウトバウンド	
		支援条件	東アジア地域等から県内空港へのチャーター便を運航	県内宿泊施設で1泊以上宿泊	県内空港を利用したチャーター便利用	
		支援内容	着陸料等 3/4 支援	ツアー客1名につき 5千円		
		限度額	1 離着陸当たり 20万円	1 便あたり 100万円	※国内航空便利用促進事業(空港利用促進懇話会を通じて支援) 座席数 200 席未満 50万円 座席数 200 席以上 100万円	
		〈連続チャーターへの追加支援〉		〈広告支援〉		
		・ 支援条件: 1 か月 3 離着陸以上運航		日本人向けツアー造成(広告費)に対する経費支援		
		・ 支援内容: 空港ビル使用料 10/10 支援		限度額: 50万円		
		・ 限度額: 1 離着陸 14.1万円、1 か月 100万円				
連続チャーター便ツアーPR事業	15,500	季節チャーター便として連続3離着陸以上の運航を行う航空会社及び同企画に併せて本県の観光素材を活用した商品を造成する旅行会社と協働して、本県の魅力を国外にPRする。 1往復上限500千円(定期便化が見込まれる路線等については「戦略的チャーター便」として位置づけ、6往復以上で県内に2泊以上宿泊する場合は1往復上限1,000千円とする。)				
チャーター便誘致に向けた取組	50	空港サポート通訳業務 50千円				
	200	新規チャーター便誘致の交渉等にあたり、旅行社等をアドバイザーとして派遣するための経費				
計	32,100					

3 これまでの取組状況、改善点

積極的かつ継続的な航空会社等への働きかけにより、香港からのチャーター便の就航が定期便化に繋がった。引き続き、台湾及び中国をはじめ各方面からのチャーター便を誘致し、外国人観光客の増加を促進する。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

観光戦略課(内線:7221)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際定期便利用促進事業	163,486	153,980	9,506				163,486	
トータルコスト	185,712千円(前年度176,226千円) [正職員:2.8人]							
主な業務内容	エアソウル・香港航空への運航経費支援、就航地等との交流支援、関係機関との連絡調整ほか							
工程表の政策目標(指標)	航空路線の利便性の向上等、外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

国際定期便の安定的な運航を図るため、次の取組を実施する。

- (1) 米子ソウル・香港便の両路線を運航する航空会社に対して、運航経費の一部を支援する。
- (2) 米子香港便を活用した教育・スポーツ等の交流の拡大につながる取組を支援するとともに、第三国への乗継利用の拡大等による利用促進を図る。
- (3) 山陰両県の官民で組織する国際定期便利用促進協議会の一員として両路線の利用促進を図る。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区 分	予算額	内 容
① エアソウルに対する支援	76,256	運航に要する経費の一部を支援する。 <既存便分(週3便)> ・着陸料、航行援助施設利用料等の3/4 ・空港ビル施設使用料の10/10 <増便分(週3便)> ・着陸料の1/2、空港ビル施設使用料等の1/3 ※訪日誘客支援空港(拡大支援型)の制度に基づき、国による割引・支援と同額を支援する。
② 香港航空に対する支援	76,750	運航に要する経費の一部を支援する。 <既存便分(週2便)> ・着陸料等の1/2 ・航行援助施設利用料等の3/4 ・空港ビル施設使用料等の10/10 <増便分(週1便)> ・着陸料の1/2、空港ビル施設使用料の1/3 ※訪日誘客支援空港(拡大支援型)の制度に基づき、国による割引・支援と同額を支援する。
③ 米子香港便交流創出支援	200	教育、スポーツ、文化、ビジネス分野で香港便を利用した香港・マカオ地域等との交流の拡大に繋がる取組を支援する。 ・補助率:10,000円/人(定額)
④ 米子発香港乗継利用促進	180	4泊5日以上での米子香港便乗継による利用促進を図るため、県内に営業所のある企業、団体等を支援する。 ・補助率:1人1往復当たり6,000円(定額)
⑤ 国際定期便利用者支援	100	国際定期便利用者に対して、米子駅～米子空港間の連絡バス往復料金をワンコイン(500円)で提供する。
⑥ 国際定期便利用促進協議会負担金	10,000	国際定期便の利用を促進するため、国際便の利用者に対して各種支援を実施する。 ・グループ旅行支援、教育旅行貸切バス支援、旅行商品造成支援等
合 計	163,486	

3 これまでの取組状況、改善点

堅調な利用実績を背景に米子ソウル便が2018年10月28日から週6便に、米子香港便が同年12月4日から週3便に増便された。これらの維持発展を図るために、さらなる路線の認知度向上と利用促進の強化が必要である。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
1項 商業費
3目 金融対策費

観光戦略課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光開発促進 資金融資制度	8,746	9,988	△1,242			＜貸付金元利収 入＞ 8,746		
トータルコスト	8,746千円（前年度 9,988千円） [正職員：0.0人]							
主な業務内容	市町村、事業者、金融機関との連絡調整等							
工程表の政策目標 （指標）	-							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

観光振興を図るため、県内で観光・レクリエーション等の用に供する施設整備を行う中小企業に対し、その必要な資金の一部を融資する。

2 主な事業内容

金融機関に対し資金を融資することで、企業に低利の貸付を実施する。

・貸付金 8,746千円

融資対象	県内において、観光・レクリエーション施設及び旅館業の用に供する施設の整備を行う者		
融資条件等	限度額	2億	
	利率	2.14～2.48%	
	期間	15年以内	
事業終了年度	平成31年度予定		

※預託金は年度末に県に返還され、これを財源としている。

※平成18年度以降の新規融資については、鳥取県企業自立サポート事業「企業自立化支援資金（商工労働部企業支援課）」に移行しており、本事業分は平成17年度までに承認した既融資分（2社）に係る経費である。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
一般社団法人山陰インバウンド機構運営事業	100,000	100,000	0				100,000	
トータルコスト	119,051千円（前年度 119,068千円）〔正職員：2.4人〕							
主な業務内容	山陰インバウンド機構を核としたインバウンド観光振興（ブランドづくり、PR等）							
工程表の政策目標（指標）	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

「観光地経営」の視点に立った地域の磨き上げと、増加する外国人観光客の誘致を促進するため、「山陰」を対象地域とした観光地域づくり組織「（一社）山陰インバウンド機構」の運営経費を負担する。

2 主な事業内容

（単位：千円）（ ）内は前年度額

区 分	内 容	総事業費	内 訳	
			鳥取県・島根県負担額	国直接負担見込
事業計画策定、マーケティング	動画、SNS等を活用した市場調査による観光需要の把握及び県内宿泊施設でのアンケート調査等により事業効果を測定する。	40,000 (40,000)	0 (0)	40,000 (40,000)
「縁の道」の魅力向上による滞在観光促進	日本政府観光局との連携による情報発信強化や「山陰ならではの」体験型観光の開発、農山漁村滞在観光需要の開拓、通訳案内士等による文化財情報発信等により滞在観光を促進する。	45,000 (66,000)	22,500 (33,000)	22,500 (33,000)
40万人泊達成に向けたゲートウェイ戦略推進	ゲートウェイ戦略に基づき、（一社）日本旅行業協会等と連携した誘客施策の持続的な展開及び情報発信により外国人個人観光客の誘客を図る。	92,000 (80,500)	46,000 (40,250)	46,000 (40,250)
民間力による域内消費の拡大	山陰両県内での消費拡大に向けて、外国人観光客向けビジネスの推進及びチケット不要の周遊パスの利用拡大による域内周遊促進を図る。	42,000 (35,000)	21,000 (17,500)	21,000 (17,500)
地域連携の推進	域内観光組織等と連携したプロモーション、セミナー、国際サポーター養成及び域内外の観光案内所との連携による誘客を推進する。	17,000 (32,100)	8,500 (16,050)	8,500 (16,050)
（新規）持続可能な組織の構築	国の国際観光旅客税充当事業を活用しDMO中核人材を育成する。	20,000 (0)	0 (0)	20,000 (0)
自主財源事業	消費拡大につながる外国人観光客の周遊支援等を実施する。	32,000 (26,700)	32,000 (26,700)	0 (0)
管理費	山陰インバウンド機構の代表理事及び契約社員の人件費、事務所借上代、機構の運営に係る事務費、活動経費等	70,000 (66,500)	70,000 (66,500)	0 (0)
計		358,000 (346,800)	200,000 (200,000) うち鳥取100,000	158,000 (146,800)

・同機構の事業費については、鳥取県、島根県が同額を負担するほか、新たに設けられた国際観光旅客税を財源とした国の「地域の観光戦略推進の核となるDMOの改革」事業等による支援が見込まれる。

※地域の観光戦略推進の核となるDMOの改革（観光庁）22.9億円（新規）
全国各地で世界的な競争力を有する魅力ある観光地域づくりを促進するため、全国の優良なDMOの体制を強化し、世界水準のDMOの形成を促進する。

※DMO：官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織（Destination Marketing/Management Organizationの略）。地域が一体となって市場調査や情報発信、収益事業などを展開する。

※国負担額については現在申請中であり、今後変動する可能性がある。

3 これまでの取組状況、改善点

山陰インバウンド機構及び山陰両県の誘客の取組により、平成29年度の山陰両県の外国人宿泊客数は延べ約20万人（前年比+4万人）と増加しているが、「2020年に40万人泊」という山陰インバウンド機構が掲げた目標達成には一層の外国人誘客推進が必要であるため、国の補助事業を活用して山陰への誘客に取り組む。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7421)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光振興費	65,169	71,741	△6,572			<手数料> 172	64,997	
トータルコスト	84,220千円(前年度 90,809千円) [正職員:2.4人、非常勤職員:2.0人]							
主な業務内容	他府県や市町村との連絡調整、旅行業者の指導・育成、観光統計資料の調査・整理等							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

魅力ある観光地をつくり、観光による誘客を推進するため、一層のおもてなしの向上を図る取組等を推進する。また、観光振興施策の企画・立案のため、本県の観光客数、出発地、観光の動機などについて調査を行う。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	内容
鳥取県観光振興指針検討委員会	230	鳥取県観光振興指針「ようこそようこそ鳥取県運動取組指針」改訂の審議を行う鳥取県観光振興指針検討委員会の設置
観光客入込動態調査の実施	3,010	本県への観光客数のほか、観光客の出発地や観光の動機などについての統計調査
各種観光振興団体への負担金	2,162	各種観光団体が行う観光施策等に効果的に参画するため負担金を支出
観光案内看板の管理	1,000	観光案内看板の整備、情報更新
フィルムコミッション業務委託	4,914	鳥取県におけるフィルムコミッションの窓口業務を行う鳥取県観光連盟への委託
交際費	100	観光交流局長交際費
事務費等	53,753	観光戦略課所掌事務に係る連絡調整に係る経費等
計	65,169	

県内観光推進組織連携事業	1,000	1,000	0			1,000		
トータルコスト	1,794千円(前年度 1,795千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	事業の企画、関係組織との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境整備							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

平成28年4月に設立した山陰インバウンド機構と県内各圏域DMOが連携し、効率的かつ確実に地域の魅力を提供する仕組みづくりを確立するため、県内各圏域DMOの機能向上を目指す。

2 主な事業内容

・県内DMO専門家派遣事業 1,000千円
地域づくりの有識者、または先進的DMOの経営者等を招いた実地指導を実施し、DMO運営に対する知識やノウハウの蓄積のほか、山陰インバウンド機構が保有するマーケティングデータの活用等、DMOとしての機能向上を図る。

3 これまでの取組状況、改善点

国内外の観光客の獲得と、持続可能な地域経済の発展に向けて、地域全体の観光地経営を行う組織(DMO(観光地域づくり法人))の整備と機能向上が求められている。
平成28年度は、鳥取県中部のDMO「鳥取中部観光推進機構」を対象に専門家を招致し、同機構は、専門家の指導・助言を今後の事業計画策定に生かすことができた。
平成30年1月には東部地域のDMOとして新たに「一般社団法人麒麟のまち観光局」が設立されるなど圏域DMOの整備が進んでいるため、本事業により山陰インバウンド機構と圏域DMOとの連携強化及び組織の機能向上を支援する。

※DMO:官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織(Destination Marketing/Management Organizationの略)。地域が一体となって市場調査や情報発信、収益事業などを展開する。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7421)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県観光連盟運営費	95,226	95,271	△45				95,226	
トータルコスト	96,814千円 (前年度 96,860千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	負担金の交付・連絡調整							
工程表の政策目標 (指標)	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

観光客誘致に関する取組を強化し積極的な誘客を図るため、観光キャンペーンの実施及び商品造成の働きかけ・観光情報の発信等を行う(公社)鳥取県観光連盟の運営費を負担する。

2 主な事業内容

・運営費負担金 95,226千円

区分	内容
人件費	県10/10 (組織体制) 専務理事(県派遣)、事務局長、課長(2名うち1名県派遣) 観光プロモーター(3名)、書記(6名うち3名が正職員)
事業費	県1/2 (ただし、観光資料整備事業については県10/10) (1) 地域受け地づくり対策推進事業 着地型旅行商品販促、体験型商品企画支援、広域観光機能強化事業、教育旅行誘致促進体制整備 など (2) 観光客誘致対策強化事業 旅行エージェント招致、観光情報説明会開催、観光プロモーター活動事業 など (3) 観光誘客キャンペーン事業 交通事業者との観光キャンペーン、観光親善大使による誘客活動 (4) 情報発信・宣伝事業 各種観光パンフレット制作、ホームページ、旅行エージェント向け観光素材集制作 (5) 会員等との誘客連携事業

3 これまでの取組状況、改善点

平成21年度に鳥取県観光連盟の業務を見直し、機動的な対応が必要な業務、民間事業者との連携が必要な業務などを段階的に移管し、平成24年度には観光商品造成支援業務、観光ホームページの運営及び観光パンフレット等の作成、平成25年度には観光ニュースの発行等、観光情報発信業務を移管した。
平成26年度より組織体制強化のため、書記の正職員化を進め、現在3名の正職員を有している。平成31年度以降も観光魅力づくり・誘客促進を図っていく。

事業名	本年度	前年度	比較	備考
コンベンション誘致促進事業	48,602	48,750	△148	
トータルコスト	49,396千円 (前年度 49,545千円) [正職員: 0.1人]			
主な業務内容	(公財)とっとりコンベンションビューローへの指導、調整交付金・補助金交付事務、実施主体との連絡調整			
工程表の政策目標 (指標)	魅力ある観光地づくりと戦略的情報の発信、外国人観光客の誘致及び受入環境の整備			

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県内産業の振興、地域活性化、国際的相互理解の増進及び文化の向上を図るため、県内全域を対象にしたコンベンションの誘致を促進する(公財)とっとりコンベンションビューローに対して、コンベンション誘致に要する経費を助成する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
運営費交付金	28,602	(公財)とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。(負担率: 県1/2・4市1/2)
コンベンション開催助成費補助金	20,000	コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。(負担率: 県1/2・開催市町村1/2)

3 これまでの取組状況、改善点

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催控え、スポーツに対する意識が高まる中、一層のスポーツ大会等の誘致を進めていくほか、ビジネス客の取り込みにつながるインバウンド客の誘致活動を積極的に進める。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7421)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「誰もが楽しめる観光地・鳥取県」創造事業	4,762	10,423	△5,661	2,381			2,381	
トータルコスト	8,731千円 (前年度 14,396千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	関係機関との調整、委託業務調整							
工程表の政策目標(指標)	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信							

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

高齢人口の増加、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた全国的なユニバーサル化推進のなか、鳥取県観光の成長産業化を進めるため、一層の拡大が見込まれるユニバーサルツーリズム市場を他県に先駆けて開拓し「誰もが楽しめる観光地・鳥取県」となるよう、ユニバーサルツーリズムを推進する。

(1) ユニバーサル情報共有アプリによる発信事業 (874千円) (H31-32債務負担行為設定済)

「誰もが楽しめる観光地・鳥取県」の知名度向上を図るため、ユニバーサル情報共有アプリ「Bmaps (ビーマップ)」に設置した鳥取県専用ページを活用し、障がい者や高齢者、外国人など多様なユーザーに対し、鳥取県内の観光・宿泊施設等のバリアフリー情報等を効率的に提供する。

この専用ページに観光情報やパーソナルバリアフリー基準に基づき調査したバリアフリー環境整備状況(発着地となる交通拠点、観光施設、宿泊施設等の段差やスロープ等の状況)のほかUDタクシーを使用したモデルコース等を掲載しPRに活用する。(日本語・英語対応)

※Bmaps (ビーマップ) : 日本財団が(株)ミライロに企画・開発を委託した情報投稿型アプリで、全国で約11,640人のユーザーが各地の施設情報等の入手に活用している。

区分	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	計
事業内容	・施設情報収集 ・県専用ページに情報掲載 (70件: 1月末時点)	・施設情報の充実 (90件(予定))	・施設情報の充実 (40件(予定))	・施設情報 (200件)
予算額	1,404千円	874千円	880千円	3,158千円

※アプリ: application software・アプリケーションソフトウェアの略。パソコンなどの情報処理装置にインストールされたOS(基本ソフト)上で動作するソフトウェアを指す。スマートフォンの普及とともに定着し、電話機能、電子メール、ウェブブラウザ、ゲームなどもすべてアプリと呼ばれる。

(2) ユニバーサル事例創出支援事業 (3,888千円) (H31債務負担行為設定済)

県内でユニバーサル化改修等による経営の成功事例を創出するため、経営コンサルタント・金融機関・ユニバーサル建築家等の専門家で構成する「支援チーム」が、こうした改修等に意欲のある旅館経営者に対して、ユニバーサル化に取り組む経営メリットやおもてなし力向上を含む先進事例、具体的な改修案を提示するとともに、事業化に向けた中長期的な経営相談等を行う。この取組による経営改善・お客様の評価等の成果は、県が展開するユニバーサルツーリズム推進における広報に活用する。

※旅館等のユニバーサル化: スロープを設けるなどの物理的なバリア(障壁)の除去だけではなく、上がり框が低めに設けられている、手すりにデザイン性を持たせてあるなど、予め、年齢や障がい等の有無に関わらず誰もが旅館の雰囲気等を楽しみながら過ごしやすいデザイン、設計・施工されている施設(客室)にすること。

※委託先は株式会社山陰合同銀行

区分	H30 (2018)	H31 (2019)	計
事業内容	・支援対象旅館を選定 ・先進地視察、建物改修案検討、実施	・おもてなし力向上研修 ・リニューアル広報宣伝、成果の普及推進	-
予算額	3,888千円	3,888千円	7,776千円

3. これまでの取組状況、改善点

観光資源やバリアフリー環境整備状況等を考慮し、旅行会社、障がい者、高齢者団体等の意見を踏まえたバリアフリーツアーコースの設定に取り組んだ。引き続き、高齢者や障がいのある方も楽しく観光いただくためバリアフリー観光情報発信に努める等、設定したバリアフリーツアーコースをPRするとともに、おもてなし態勢の整備に取り組んでいく。

(目標) KPI: 平成31年度までにバリアフリーツアーコースを10コース設定

(現状) 平成29年度までに10コースを設定し、目標を前倒しで達成した。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)鳥取西道路開通観光情報発信事業	19,705	0	19,705				19,705	
トータルコスト	21,293千円（前年度 0千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	メディアを活用した情報発信							
工程表の政策目標（指標）	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

平成31年夏までに全線開通する山陰道・鳥取西道路及び鳥取道のPRを行い、関西・中京圏からの誘客を促す。

2 主な事業内容

(1) メディア活用による情報発信 8,000千円

(2) デジタルスタンプラリー（JAFと連携）705千円

内容	JAFデジタルスタンプラリーに参加して県東部～中部を周遊するコースを造成し、自動車を利用した観光誘客及び県内周遊を促す。 （実施期間：平成31年4月下旬～1.2月下旬予定） 参加予定団体 ・中国地方51地方公共団体、道の駅連絡会 ・JAF（一般社団法人日本自動車連盟）
事業費内訳	負担金605千円、報償費100千円

(3) SNS（※）やOTA（※）等のインターネット等を活用したPR 10,000千円

インターネットで宿泊予約することが多い自動車を利用する観光客をターゲットにインターネットでの露出を図る。

区分	内容	予算額
（開通前後） SNSやOTAを活用した個人旅行者誘致のための宿泊及び観光情報の発信	鳥取県観光連盟サイト上でSNS広告、検索連動広告を展開し、直接宿泊予約が可能なOTAサイトに誘導する。	5,000千円 （※11月補正において債務負担行為設定済）
（開通後） 宿泊・周遊促進の取組	OTA等を活用し、西道路開通でアクセス性が向上する中部の魅力の情報を発信するとともに宿泊特典クーポンを発行し、鳥取での滞在時間の伸長と県内周遊を図る。 ・キャンペーン情報掲載 ・SNS広告、検索連動広告 ・宿泊クーポン経費、事務費	5,000千円

※SNS：インターネットのネットワークを通じて人と人をつなぎコミュニケーションが図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service）の略。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。

※OTA：「じゃらん」「楽天」など、インターネット上でだけ取引を行う旅行会社Online Travel Agentの頭文字の略。（店舗で営業を行っている旅行会社のオンライン販売はOTAとは呼ばない。）

(4) 鳥取西道路PRリーフレット作成 1,000千円

鳥取西道路の開通をPRし鳥取県中西部への誘客につなげるため、リーフレットを作成する。

- ・目的 鳥取西道路開通から夏頃までの期間に配布し、県内周遊を促す。
- ・内容 鳥取西道路開通情報、地図、関西からのアクセス、みどころ紹介
- ・配布場所 県外イベント等で配布

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7237)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
世界に誇れる「星取県」ブランド化推進事業	4,000	34,000	△30,000	2,000			2,000	
トータルコスト	11,938千円(前年度 41,945千円) [正職員:1.0人]							
主な業務内容	星取県にかかる情報発信・ブランド構築、受入体制整備・星空メニュー開発、関係機関との連携・連絡・調整							
工程表の政策目標(指標)	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信							
事業内容の説明				【「地方創生推進交付金」充当事業】				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>鳥取県は、県内全市町村から「天の川」が見え、「流れ星」も見やすく、「美しい」星空を持つ地域で、環境省の調査(全国星空継続観察)でこれまで何度も日本一に輝いた星空を有している。引き続き、国内外における星取県の認知度及びブランドイメージ向上を図りつつ、「星取県ならではの」星空観光メニューの充実を図り、県全域の観光振興等に繋げていく。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>受入体制整備・星空メニュー開発(4,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ニューツーリズム普及促進支援補助金(星取県推進型) 国内及び外国人向けに提供できる体験プログラムを造成する事業者に対して助成を行う。 [補助率:2/3、上限額:1,000千円] 								
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度から、星空を観光振興、環境教育、地域づくり等に活用する「星取県」の取組を開始した。県内では官民双方による情報発信やイベント開催や星空を楽しむ観光プログラムの実施が増え、地域全体に星取県関係の動きが広がりつつある。30年度には、星空観光事業者向けの雨天・曇天対策として星取県VRを制作した。 ○引き続き、県内事業者が観光メニュー等に星空を活用しやすい環境をつくる。 								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光戦略課（内線：7237）

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「蟹取県へウェルカニ」 誘客促進事業	32,427	32,727	△300				32,427	
トータルコスト	40,365千円（前年度40,672千円）[正職員：1.0人]							
主な業務内容	キャンペーン企画、業務委託事務、広報業務							
工程表の政策目標（指標）	魅力ある観光地づくりと戦略的観光の発信							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「鳥取県＝カニ」の認知度向上及び宿泊観光誘客の拡大のため、カニシーズンの到来に合わせ「蟹取県ウェルカニキャンペーン」を展開し、首都圏をはじめとするメディアでの露出を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
「蟹取県ウェルカニ キャンペーン」の実施	8,725	・キャンペーン期間中（2019年9月1日～2020年2月28日）、 県内の宿泊施設に宿泊した方を対象に、毎月抽選で 「鳥取県のカニ」をプレゼントする。
情報発信に要する経費	23,702	・キャンペーンパンフレット、ポスター等を作成し、キャ ンペーンの情報を発信する。 ・首都圏においてキャンペーンのキックオフイベントを開 催し、キャンペーンのPRを実施する。 ・フェイスブックやツイッター、LINEなどSNSと連動した特 設WEBサイトを構築し、キャンペーン情報を発信する。 ・首都圏、関西圏の大手メディア発信により全国規模で露 出する。 ・スタンプラリーなどを実施し、県内周遊を促進する。
合計	32,427	

※SNS：インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図ることができ
るよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social network
ing service）の略。利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。

※フェイスブック（Facebook）：フェイスブック社が提供するソーシャル・ネットワーキング・サービス（S
NS）。さまざまな情報交換に利用されており、画像や動画の投稿、他の利用
者とのメッセージの交換などができる。

※ツイッター：「ツイート」と呼ばれる全角140文字以内のメッセージや画像、動画、URLを投稿でき、ほか
のユーザーがそれを読んだり、返信することでコミュニケーションが生まれるインターネッ
ト上のサービス。

※LINE（ライン）：スマートフォン等の携帯端末から、個人間、グループ間でのメッセージ交換サービ
スや音声通話を利用できるサービス及び同名の無料アプリケーション（ソフトウェア）。

3 これまでの取組状況、改善点

- 平成26年度から「ウェルカニキャンペーン」を開始し、「蟹取県」「ウェルカニ」をキーワードに
首都圏をはじめとする各メディアでの露出につなげている。
- 今後も継続して「蟹取県」「ウェルカニ」を切り口とした取組を実施することで、都市圏での「鳥
取県＝カニ」のイメージ定着を進め、本県への誘客促進に結びつける必要がある。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「ぐるっと山陰」誘客促進事業	39,500	49,500	△10,000				39,500	
トータルコスト	41,881千円 (前年度 51,884千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

団体旅行向けの観光誘客促進として、本県への旅行商品造成及び宿泊・周遊を伴うバスツアー造成並びに観光パスポート「トリパス」の作成に対する支援を行う。

2 主な事業内容

(1) バス旅行商品支援 ※平成30年11月補正予算において債務負担行為設定済

鳥取県観光連盟のプロモーター(県外本部駐在)を活用し、県外旅行会社へのバス旅行商品造成を働きかける。

区分	内容
補助金交付先	公益社団法人鳥取県観光連盟
補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社がツアー催行した場合の経費支援 【支援内容】 ・宿泊あり: バス1台当たり30千円/泊 ・宿泊なし: バス1台当たり15千円 【支援条件】 ・県内宿泊施設での平日宿泊又は平日周遊 ・バス1台当たり20名以上であること ・県内の観光地を2箇所以上訪問 ・観光連盟が指定する食事箇所又は県内旅館等で1回以上の食事利用
予算額	30,000千円 (補助率: 10/10 (定額))

(2) 旅行商品造成支援

鳥取県観光連盟のプロモーターを活用し、県外旅行会社への旅行商品造成を働きかける。

区分	内容
補助金交付先	公益社団法人鳥取県観光連盟
補助対象経費	旅行会社が支援条件を満たす旅行商品を造成した場合の経費支援 (旅行商品造成1件あたり500千円程度を想定)
予算額	7,500千円 (補助率: 10/10 (定額))

(3) 観光パスポート「トリパス」作成支援

個人旅行者に対して訴求力の強い「トリパス」を県外で積極的に配布できる環境を整えることで、個人旅行の需要を喚起する。

区分	内容
補助金交付先	公益社団法人鳥取県観光連盟
補助対象経費	観光パスポート「トリパス」の制作経費支援
予算額	2,000千円 (補助率: 1/2)

3 これまでの取組状況、改善点

- 貸切バスの運賃制度改正に起因するバス代高騰により、旅行会社は団体バスツアー造成を控える傾向にある。これまで、鳥取県中部地震により失われた観光需要を取り戻すため「中部地震復興応援バス商品支援」を実施した。また、平成30年7月豪雨時には、「観光需要回復緊急支援事業」として、バスツアー造成に対する支援内容の引き上げ等の対策を実施している。
- 団体バスツアー観光客は、個人観光客に比べ直前のキャンセルが少なく平日の来県が多いなど、県内観光施設、旅館等の安定的な経営に不可欠であるため、継続した支援が必要である。
- 引き続き、平日を活用した旅行商品造成・観光周遊、個人旅行需要の取組などを促すことで、観光需要の回復に取り組む。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光情報提供事業	43,382	43,382	0				43,382	

トータルコスト 55,289千円（前年度 55,300千円）〔正職員：1.5人〕

主な業務内容 メディアへの情報提供、取材受入 業務委託にかかるコンペ等実施、契約事務、委託先との調整

工程表の政策目標（指標） 魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取県の認知度・好感度を向上させ、鳥取県への誘客につなげるため、マスメディアを活用した情報発信のほか、近年増加傾向にある体験型観光へのニーズに対応し、鳥取県の魅力をアピールするレジャー・体験メニュー予約サイト運営等の事業を支援する。

2 主な事業内容

区分	予算額
マスコミ（テレビ・雑誌等）への情報提供や売り込み活動、イベント参加	39,400千円
マスコミの取材受入及び視聴者・読者向けプレゼント等	750千円
とっとり観光親善大使の観光イベント等への参加	100千円
レジャー体験予約サイト上に開設している鳥取県ブランドページの保守管理及び更新、WEB広告による情報発信支援（事業主体：（公社）鳥取県観光連盟）	3,132千円
合計	43,382千円

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県ブランドページについて、本県周辺の観光情報をインターネット上で検索している層を中心にターゲットを絞ったWEB広告を発信し、効果的なPRを実施した結果、平成30年度上期におけるサイトを通じた体験申込の予約組数が対前年度同期比約129%と増加し、高い効果が得られている。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
温泉地等魅力向上事業	14,810	14,810	0				14,810	
トータルコスト	23,542千円（前年度 23,280千円）〔正職員：1.1人〕							
主な業務内容	補助金・負担金交付事務及び協議会への出席、助言等							
工程表の政策目標（指標）	魅力ある観光地づくりと戦略的情報の発信							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

国内外からの観光誘客のため、本県の重要な観光素材である「温泉」の魅力向上を図る。
また、観光入込客が減少する冬期に県内外からの誘客を図るため鳥取砂丘で実施しているイルミネーション事業に対して支援を行う。

2 主な事業内容

(1) 温泉地等への支援

温泉地、観光施設及び市町等が連携して行う広報宣伝、催事等に対して助成する。

区分	予算額	内容
いなば温泉郷支援事業 〔総事業費 3,930〕	1,310千円	入湯周遊チケット作成、宿泊プラン作成、県内外でのPR、WEB・マスコミを活用した情報発信等
皆生温泉支援事業 〔総事業費 18,000〕	6,000千円	各種イベントでのPR、インバウンド対策（外国語サインの作成）、ツアーの実施やクーポンの発行等
計	7,310千円	

※負担割合 県1/3、市町1/3、旅館組合等の地元1/3

(2) 「鳥取砂丘イリュージョン」に対する支援

区分	内容
補助対象者	鳥取砂丘イリュージョン実行委員会
事業内容	電球購入、電飾取付・撤去、イベント実施等
補助率	1/2 ※鳥取市も同率で補助予定
予算額	7,500千円 ※鳥取市も同額を補助予定

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 温泉地等については、チケットクーポン作成やWEBを活用した情報発信等のほか、今後、旅行ニーズの多様化・旅行形態の変化に応じた取組を支援していく。

(2) 鳥取砂丘イリュージョン

- ・平成15年度の開催以降、毎年多くの来場者があり、冬期の観光素材として定着している。
- ・鳥取市内の地域イベント等に取り組んでいる鳥取市内の商工団体、観光団体等により構成される鳥取砂丘イリュージョン実行委員会（事務局：風土資産研究会）が平成28年に設立され、同年度から鳥取砂丘イリュージョンを開催している。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7638）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
旅情あふれる「鳥鉄の旅」創造事業	13,267	27,767	△14,500				13,267	
トータルコスト	21,205千円（前年度35,712千円）[正職員：1.0人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付事務、契約事務							
工程表の政策目標(指標)	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「瑞風」「あめつち」「昭和」などの観光列車をはじめ、鉄道沿線に広がる農山漁村、懐かしさを感じる駅舎などを鉄道で巡る旅「鳥鉄の旅」の取組を推進し、本県への観光誘客を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
1. 鳥鉄の旅ツアー創造支援事業	9,000	
(新)鳥取への鉄道の旅に誘う写真展の開催	2,000	若桜鉄道に残る昭和レトロな駅舎や山陰本線から見える雄大な日本海や大山など、豊かな自然の中で映える「鳥鉄の旅」の魅力を伝える鉄道写真展をJR西日本の協力を得て京都鉄道博物館で開催し、旅情あふれる鳥取の鉄道旅に県外から多くの観光客に訪れてもらえるようPRする。 開催場所：京都鉄道博物館（京都市） 開催時期：2019年6月頃（1ヶ月間程度を予定）
雑誌等を使ったPR	5,000	「鳥鉄の旅」の魅力を全国にPRするための駅街頭等でのイベント出展に加え、新たな鉄道女子旅の提案に向けて、観光列車「あめつち」や「昭和」「あまつぼし」などを活用した鉄道の旅の女性雑誌への広告・記事掲載やSNSを使った情報発信を行う。
JR西日本と連携した観光イベントの開催等	2,000	JR西日本と連携した駅頭観光誘客イベントの開催、JR西日本月刊情報誌「西NAVI」等への記事掲載など情報発信を行う。
2. 鳥鉄の旅魅力造成支援事業	3,000	鉄道沿線おもてなしや、県内のJR、若桜鉄道、智頭急行等に関連した鉄道観光メニューの造成、観光素材の磨き上げを行い、鳥取県内ならではの鉄道の旅を楽しむ魅力づくりを支援する。 (取組例)観光列車のアテンダント育成、停車駅等での郷土芸能披露、駅弁開発など (補助概要)補助対象者：県内鉄道事業者、観光事業者、市町村 補助上限：500千円（補助率1/2）
3. 観光列車運行対策事業	1,267	
東浜駅周辺環境整備に係る補助金 ※H28に債務負担行為設定済	1,267	東浜駅周辺トイレ、レストラン等の環境整備に係る町実質負担に対して支援する（支援対象：岩美町）。
合計	13,267	

※SNS：インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションを図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service）の略。Facebook（フェイスブック）など利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。

3 これまでの取組状況、改善点

JR西日本や第三セクター鉄道会社（智頭急行、若桜鉄道）と連携した情報発信やパンフレット「鳥鉄ノススメ」による広報などにより「鳥鉄の旅」の認知が高まってきたところであり、今後さらに関係者の連携を強化しながら、地域をあげての観光列車へのおもてなし機運の醸成や鉄道施設・沿線周辺の観光素材の磨き上げを行い、鉄道をテーマとした鳥取ならではの旅の創造による誘客を促進する。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線：7239)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (基金繰入金)	一般財源	
サイクリストの聖地 鳥取県整備事業(サイ クルツーリズム推 進事業)	5,760	25,650	△19,890			5,760		
トータルコスト	12,904千円 (前年度 32,801千円) [正職員：0.9人]							
主な業務内容	関係機関等との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信、外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明 【「鳥取元気づくり推進基金」充当事業】

1 事業の目的・概要

近県と連携した広域サイクリングルートを活用した相互誘客をはじめ、サイクルツーリズムの全県展開の進展及び鳥取西道路全線開通後の国道9号沿線の活性化に向けて、県内横断のルート設定及び整備のほかサイクリストの利便性向上なども進め、「サイクリストの聖地鳥取県」の実現を目指す。

2 主な事業内容

- (1) 安心安全なサイクリング環境の一層の充実を図るため、県内ルート設定に合わせて、サイクリスト休憩所等の支援協力店の拡大のほか、バイクスタンド等の設置やサイクルトレイン・バス等の試行的取組への支援を行う。
- (2) 中国5県で連携し中国地方及び四国地方が国内外から何度も走りに行きたくなる魅力的なサイクリングエリアとなることを目指し、広域サイクリングルートの設定、情報発信等を行うとともに、サイクルツーリズムに積極的に取り組む近県(広島、島根、愛媛)と連携してルート沿線の観光地への相互誘客を図る。
- (3) 自然を満喫する新しい旅のスタイル「ジャパンエコトラック」の第1号認定を受けた本県ルート(境港～皆生～大山)を活用して本県への誘客を図る。

(単位：千円)

区 分	予算額	内 容
協力店舗の拡大及びサイクリストの利便性向上	1,500	サイクリスト休憩所へのバイクスタンド、修理工具等の設置や自転車積載タクシーへのキャリア貸与を行う。
サイクルトレイン・バスの試行	500	交通機関と自転車との乗り換えができる環境整備に向けた試行的取組を支援する。
近県連携による相互誘客	2,000	・愛媛から大山に至る広域サイクリングルート(しまなみ海道～やまなみ街道～山陰)を活用し、相互誘客に取り組む。 ・中国地方が魅力的なサイクリングエリアとなることを目指し、誘客促進のため中国5県が連携して受入環境の整備及び情報発信に取り組む。(中国地方知事会広域連携部会サイクリング部会で検討)
ジャパンエコトラックの活用	1,760	ジャパンエコトラック第1号認定ルート「境港・皆生・大山」を活用した本県サイクルツーリズムの情報を発信する。
合 計	5,760	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・ 県西部地域においては、歴史あるサイクリング関連イベントが複数開催されているほか、サイクリングルートへの案内標示や休憩スポットの整備など、東・中部に先行してサイクルツーリズムの取組が進められてきた。
- ・ 西部ルートが完成している県横断サイクリングルートの中で、県中東部のルート及びサイクリスト受入環境の整備を進めてサイクルツーリズムの全県展開を図るとともに、中国地方各県に愛媛県も含めた広域連携でのサイクルツーリズムの推進の取組も活用し、近隣地域とも連携したサイクリスト相互誘客を図る。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7239)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客受入環境整備事業	34,632	42,173	△7,541				34,632	
トータルコスト	40,982千円(前年度 47,735千円) [正職員:0.8人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県が国際的な観光地としての魅力を高め、多くの外国人観光客が訪れる国際リゾート地として発展することを目的に、訪れる外国人観光客の利便性を図るとともに、官民が一体となって県内の『おもてなし』機運を醸成して受入環境整備を図る。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区分	予算額	内容								
(1) 外国人観光客倍増促進補助金	15,000	<p>県内宿泊施設、観光施設等における外国人観光客の受入環境整備に対する取組を支援する。</p> <table border="1"> <tr> <td>補助金名</td> <td>鳥取県外国人観光客倍増促進補助金</td> </tr> <tr> <td>補助対象者</td> <td>市町村・広域連合、県内民間事業者(市町村・広域連合は案内看板の多言語化のみ対象)</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2(上限1,000千円)</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客受入のための研修会開催 案内ツール(HP・パンフレット等)の多言語化 外国語表記看板、電子マネー等のキャッシュレス決済対応機器、音声翻訳を行うためのタブレット端末等の設置 Wi-Fi環境整備 消費税免税店舗の開設等に要する経費 ムスリム観光客のための環境整備 両替及びモバイルサービス等導入 災害時における外国人観光客対応(多言語案内ツールの作成、対応訓練、(新)非常用電源の設置等) </td> </tr> </table>	補助金名	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金	補助対象者	市町村・広域連合、県内民間事業者(市町村・広域連合は案内看板の多言語化のみ対象)	補助率	1/2(上限1,000千円)	補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客受入のための研修会開催 案内ツール(HP・パンフレット等)の多言語化 外国語表記看板、電子マネー等のキャッシュレス決済対応機器、音声翻訳を行うためのタブレット端末等の設置 Wi-Fi環境整備 消費税免税店舗の開設等に要する経費 ムスリム観光客のための環境整備 両替及びモバイルサービス等導入 災害時における外国人観光客対応(多言語案内ツールの作成、対応訓練、(新)非常用電源の設置等)
補助金名	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金									
補助対象者	市町村・広域連合、県内民間事業者(市町村・広域連合は案内看板の多言語化のみ対象)									
補助率	1/2(上限1,000千円)									
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客受入のための研修会開催 案内ツール(HP・パンフレット等)の多言語化 外国語表記看板、電子マネー等のキャッシュレス決済対応機器、音声翻訳を行うためのタブレット端末等の設置 Wi-Fi環境整備 消費税免税店舗の開設等に要する経費 ムスリム観光客のための環境整備 両替及びモバイルサービス等導入 災害時における外国人観光客対応(多言語案内ツールの作成、対応訓練、(新)非常用電源の設置等) 									
(2) 観光案内体制の整備	6,911	米子空港ビル(香港便・ソウル便)及び境港国際旅客ターミナルの観光案内所に案内人を配置するとともに、香港便利用者へアンケート調査を実施する。								
(3) 観光施設等の多言語対応の充実・利便性の向上	900	多言語電話通訳サービスを提供する。(通年)								
(4) 「おもてなし」の充実	1,200	県内空港等におけるチャーター便歓迎行事を実施する。								
(5) インパウンド向け路線バス乗り放題パスポート助成	1,600	外国人観光客向けの県内路線バス乗り放題(3日間)パスポートの利用促進を支援する。								

区 分	予算額	内 容
(6) 宿泊施設魅力アップ事業補助金	8,000	補助金名 鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金
		補助対象者 県内旅館・ホテル等の宿泊施設（温泉旅館組合・ホテル旅館組合は観光客受入のための研修会開催のみ）
		補助率 1/2 ※和式トイレの洋式化のみ1/3（上限1,000千円）
		ユニバーサル化事業 ・客室、食事処等を誰もが使いやすい環境へ整備するための経費（和室へのベッドの整備、食事処への机、椅子の整備） ・テレビの字幕・手話放送、外国語放送導入に要する経費 ・和式トイレの洋式化
		補助対象経費 魅力向上事業 ・体験メニュー造成に要する経費（着物体験メニュー造成など） ・観光客受入のための研修会開催等に要する経費
		(新) ペット宿泊推進事業 ・客室でペットと一緒に宿泊するための整備に要する経費
		(新) サイクリストの聖地推進事業 ・自転車を館内（玄関口など）に駐輪する等の整備に要する経費
(7) ICTを活用した外国人個人旅行者（FIT）対応事業	1,021	通訳案内士（山陰地域通訳案内士含む）等が電子メールにより多言語で県内の観光スポット、グルメ、二次交通等の案内を行う。 ・実施期間：通年 ・対応言語：英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語
計	34,632	

3 これまでの取組状況、改善点

本県を来訪する外国人観光客が心地よく滞在できるよう、県では、県内宿泊施設、観光施設等のWi-Fi環境整備、ホームページの多言語化、外国語表記看板等の支援や、米子鬼太郎空港・境港国際旅客ターミナル観光案内所への外国語対応可能な案内人の配置、電子メールによる観光案内等を実施している。

また、外国人に加え、高齢者や障がいのある方にも旅行を楽しんでいただけるように、宿泊施設の魅力向上に向けた支援（ユニバーサル化やトイレの洋室化等）を継続するとともに、ペットと一緒に宿泊するための整備やサイクリストが宿泊しやすい環境整備などにより、宿泊施設の魅力向上を推進していく。

※ICT：Information and Communication Technology（情報通信技術）の略であり、IT（Information Technology）とほぼ同義の意味を持つが、国際的にICTが定着していることなどから、日本でも近年ICTがITに代わる言葉として広まりつつある。

※Wi-Fi：ケーブルにつながずにインターネットに接続できる「無線LAN」の通称でWireless Fidelity（Wireless＝無線、Fidelity＝忠実の意）に由来する。基地局（ルーター）が電波でスマホやパソコンにデータを送り、ネット接続できる。

※ユニバーサル化：スロープを設けるなどの物理的なバリア（障壁）の除去だけでなく、上がり框が低めに設けられている、手すりにデザイン性を持たせてあるなど、予め、年齢や障がい等の有無に関わらず、誰もが旅館の雰囲気等を楽しみながら過ごしやすくデザイン・設計・施工されている施設（客室）にすること。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7239）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光周遊促進支援事業	19,250	25,061	△5,811				19,250	
トータルコスト	24,807千円（前年度 28,239千円）〔正職員：0.7人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、事業の企画、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信 外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

旅行形態の団体旅行から個人旅行への変化を踏まえ、個人旅行者の利便性向上と本県旅行商品の魅力アップによる本県への誘客を図るため、空港や港といった基幹交通拠点等を出発地として観光地を巡るプランの充実等を図る。また、クルーズ客船の鳥取港、境港から周辺施設への周遊を図ることで、経済波及効果を最大限に引き出す。

2 主な事業内容

(1) 県内に発着又は宿泊する外国人旅行者向けに主要観光地等を周遊するタクシー等の運行及び広報支援（16,976千円）

補助対象者	民間事業者等
補助率	1/2
補助対象経費	運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費

(2) 空港や駅から主要観光地を周遊するバス等の運行及び広報支援（424千円）

補助対象者	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会
補助率	1/3
補助対象経費	運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費

(3) 港から周辺施設等への周遊バスの運行支援（1,800千円）

補助対象者	市町村、観光関係団体等
補助率	1/2
補助対象経費	運行経費から運賃収入を除いた経費

(4) ガイドマップ「とっとりのもりの総合案内」作成（50千円）

観光客に対して県内の観光二次交通情報をわかりやすく情報提供するため、東部、中部、西部のエリア別に観光二次交通と観光情報をまとめたガイドマップを作成する。

3 これまでの取組状況、改善点

観光二次交通については、観光客の県内移動の利便性と周遊性を高めるよう整備を進めている。また、クルーズ客船寄港時の周遊バス運行支援（港から周辺施設等へのアクセス・利便性向上）により、ツアーに参加しないフリー客の県内誘客促進に取り組み、国内外を含め多くの観光客に利用していただき、大きな成果を得ている。

今後も、新たな周遊コースを加えるなど滞在時間の延長及び県内滞在の促進、県内観光地等の魅力発信を推進する。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

観光戦略課（内線：7239）

3項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-72-2080）

1目 観光費

西部総合事務所日野振興センター日野振興局（電話：0859-72-2080）

（総合事務所分は地方機関計上予算）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
とっとりスタイルエコ ツーリズム普及推進事業	35,659	108,368	△72,709	2,869			32,790													
トータルコスト	54,710千円（前年度 125,848千円）〔正職員：2.4人〕																			
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等																			
工程表の政策目標（指標）	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信、外国人観光客の誘致及び受入環境の整備、エコツーリズム・スポーツツーリズムの推進																			
事業内容の説明	【「地方創生推進交付金」充当事業】																			
<p>1 事業の目的・概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な自然環境、歴史文化遺産、食材等、鳥取ならではの地域資源と各分野の人材を活用した体験型教育旅行商品の開発・普及を促進し、鳥取の潜在力や秘めた魅力をより深く来県者に伝えることにより、国内外の鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大を目指す。 ・スポーツフィールドである海と山とが30分圏内に存在し、加えて皆生温泉という全国有数の温泉地を有する日本でも稀有な地である県西部地域の特性を活かし、健康・自然・癒しなどをメインにした、スポーツツーリズム、エコツーリズム、ヘルスツーリズムのすべての要素を有する「とっとりスタイルエコツーリズム」を推進するため、アウトドアアクティビティ環境の整備とともにアウトドアツーリズムの適地として幅広く内外にPRするための情報発信を行う。 <p>2 主な事業内容</p> <p>【1 国内誘客の推進 16,239千円（観光戦略課）】</p> <p style="padding-left: 20px;">地域資源の観光メニュー化や規模拡大を行う団体を支援するとともに、旅行会社等と連携した情報発信、教育関係者へのプロモーション活動の強化を行う。</p> <p>(1) 教育旅行誘致 10,739千円</p> <p>①教育旅行誘致を目的とした宿泊助成 5,000千円</p> <p style="padding-left: 20px;">本県での修学旅行受入を積極的に進めるため、宿泊費助成を設け、教育旅行の誘致促進を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <tr> <td style="width: 20%;">補助対象者</td> <td>県外の小、中、高等学校</td> </tr> <tr> <td>補助額等</td> <td>宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）</td> </tr> </table> <p>②体験型教育旅行誘致促進業務補助金 5,739千円</p> <p style="padding-left: 20px;">教育旅行の誘致拡大に向け、視察旅行の開催等の積極的な売り込みを図るとともに、体験型教育旅行の受入機能を強化する等の受地体制整備に取り組む鳥取県教育旅行誘致促進協議会に対し、運営費等を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県教育旅行誘致促進協議会運営費（観光関係団体等の受地体制整備、体験型教育旅行の誘致活動） ・教育旅行誘致コーディネーターの配置 <p>(2) 観光メニュー造成や受地整備に対する支援（ステップアップ型）1,000千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <tr> <td style="width: 20%;">補助対象者</td> <td>市町村、観光協会など</td> </tr> <tr> <td>補助額等</td> <td>1/2（上限500千円）</td> </tr> </table> <p>(3) 人材育成を核とした体制整備や規模拡大への取組に対する支援（規模拡大型）4,500千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <tr> <td style="width: 20%;">補助対象者</td> <td>市町村、観光協会など</td> </tr> <tr> <td>補助額等</td> <td>1/2（上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。）</td> </tr> </table>									補助対象者	県外の小、中、高等学校	補助額等	宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）	補助対象者	市町村、観光協会など	補助額等	1/2（上限500千円）	補助対象者	市町村、観光協会など	補助額等	1/2（上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。）
補助対象者	県外の小、中、高等学校																			
補助額等	宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）																			
補助対象者	市町村、観光協会など																			
補助額等	1/2（上限500千円）																			
補助対象者	市町村、観光協会など																			
補助額等	1/2（上限2,500千円、1事業者に対する支援は3年を限度とする。）																			

【Ⅱ アウトドアツーリズム普及推進事業 17,806千円(西部総合事務所)】

(1) アウトドアツーリズムイベント開催支援

(単位:千円)

名称(開催時期)	参加者概要	予算額
全日本トリアスロン皆生大会(7月)	個人900人(県内85人、県外815人)、チーム(3人一組)57組	5,000
皆生・大山 SEA TO SUMMIT(5月)	272人(県内102人、県外170人)	1,000
弁慶ライド(6月)	172人(県内31人、県外141人)	500
中海オープンウォータースイム(6月)	179人(県内70人、県外109人)	500

(2) 環境整備

(単位:千円)

事業名	内容	予算額
弓ヶ浜コース全線開通に向けた整備(安全標識、看板設置)	弓ヶ浜コース全線開通に向けた看板及び安全標識等を設置する。	3,698
弓ヶ浜サイクリングコース維持管理	皆生海岸ルート及び夢みなと工区の維持管理及び沿線美化活動を支援する。	6,608
(新規) レンタサイクル拠点整備	新貨客船ターミナル整備予定の竹内南地区における観光の魅力向上に向けた実証実験を行う。	500

【Ⅲ たたら資源等の活用体験事業 1,614千円(西部総合事務所日野振興センター)】

圏域の新しい観光素材の発掘等や全国に誇る地域資源である「たたら」の磨き上げに取り組む団体を支援し、「とっとりスタイルエコツーリズム」を定着させる。

① 地域の誇り「たたら」の磨き上げ事業 564千円

日野郡のたたら文化の認知度向上を図るため、市部においてもミニたたら操業体験を実施するなど取組を拡充・展開することで、交流人口増加及び地域の魅力化に繋げる。

② 日野郡ニューツーリズム推進事業 1,050千円

事業主体	日野郡広域交流促進協議会
事業内容	日野郡の地域資源を活用したエコツーリズムメニューの造成や情報発信について助成する。
補助率等	1/2(上限1,050千円)

3 これまでの取組状況、改善点

- ・教育旅行のプログラム開発や受入れ施設の拡大など、地域一体となって教育旅行誘致を進めるとともに、地域資源の磨き上げやガイド育成のほか、主要地を結ぶ地域情報の収集や情報発信など、とっとりスタイルエコツーリズムの一層の全県展開に取り組んでいる。
- ・トリアスロン大会、SEA TO SUMMITなどのスポーツイベントの開催を継続して支援している。
- ・「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」は、平成31年度末の完成を目指し整備中で、全線開通後の利用促進に向けて継続的なPRを実施している。
- ・県西部地域は、鈴木スポーツ庁長官から「大山を臨む自然環境自体が大きなアリーナである」という評価をいただいた地であり、アウトドアツーリズムの適地として地域のブランド化を図っていく。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7638）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域観光連携推進事業	8,915	10,394	△1,479				8,915	
トータルコスト	16,853千円（前年度16,750千円）[正職員：1.0人]							
主な業務内容	広域的な観光客誘致活動、連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県内外の観光関係団体・関連事業者等と連携協力して、スケールメリットを活かした広域情報発信、共同プロモーション等効果的な観光誘客を図る。								
2 主な事業内容 (単位：千円)								
区 分	予算額	内 容						
ひょうご・とっとり ツーリズムバス事業	600	鳥取県及び兵庫県以外の居住者が団体に貸切バスを使用して所定の観光施設を訪れる場合、バス借上料の一部を助成する。						
鳥取・岡山観光連携 事業	1,000	広域観光地区の改訂、両県連携による情報発信、宣伝活動、旅行会社への商品造成の働きかけ等を実施する。 総事業費2,000千円（本県負担：1,000千円）						
「ディスカバーウェ スト」中国五県連携 観光振興事業	5,250	首都圏をはじめとする大都市圏から中国地方への観光誘客を図るため、中国五県とJR西日本で組織する「DISCOVER WEST連携協議会」を通して、観光情報の発信等を行う。						
鳥取自動車道活性化 協議会事業	900	鳥取自動車道沿線市町・民間が連携して行う沿線地域の観光魅力発信、沿線を周遊する観光ルートの提案などの観光誘客事業を行う。 総事業費2,150千円（本県負担：900千円）						
NEXCO西日本と 連携した観光キャン ペーン連携事業	450	NEXCO西日本と西日本の各府県が共同で実施するカードラリー「お国じまんカードラリー」に参加し、高速道路を活用した情報発信と観光誘客に取り組む。						
JAFと連携した観 光キャンペーン連 携事業	715	JAF（(一社)日本自動車連盟）が実施するデジタルスタンプラリーに参加し、鳥取県の観光周遊コースを作成し、県外からの自動車利用の観光誘客及び県内周遊観光を促進する。						
計	8,915							

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課(内線:7221)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
(新)DBSクルーズフェリー就航10周年記念利用促進事業	2,000	0	2,000				2,000													
トータルコスト	3,588千円(前年度:0千円)[正職員:0.2人]																			
主な業務内容	旅行商品造成・販売促進支援、広報業務委託																			
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>DBSクルーズフェリー就航1.0周年を迎える2019年を更なる認知度向上の機会と捉え、航路を結ぶ日本(境港)・韓国(東海)・ロシア(ウラジオストク)における利用増加を図るための各種PRに取り組む。</p>																				
<p>2 主な事業内容 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学生向けPRによる日本国内での利用促進</td> <td>1,000</td> <td>中国地方の大学構内でDBSクルーズフェリーのPRを行うとともに、ツアー斡旋を行い新規利用者増を図る。</td> </tr> <tr> <td>サイクリングツアー等を通じた韓国からの誘客</td> <td>1,000</td> <td>船の特性を活かした韓国発のサイクリングツアーの集客のためのPRを行い、サイクリストへの認知度向上、誘客を図る。</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	内容	大学生向けPRによる日本国内での利用促進	1,000	中国地方の大学構内でDBSクルーズフェリーのPRを行うとともに、ツアー斡旋を行い新規利用者増を図る。	サイクリングツアー等を通じた韓国からの誘客	1,000	船の特性を活かした韓国発のサイクリングツアーの集客のためのPRを行い、サイクリストへの認知度向上、誘客を図る。	計	2,000	
区分	予算額	内容																		
大学生向けPRによる日本国内での利用促進	1,000	中国地方の大学構内でDBSクルーズフェリーのPRを行うとともに、ツアー斡旋を行い新規利用者増を図る。																		
サイクリングツアー等を通じた韓国からの誘客	1,000	船の特性を活かした韓国発のサイクリングツアーの集客のためのPRを行い、サイクリストへの認知度向上、誘客を図る。																		
計	2,000																			
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>韓国人向けを中心に、韓国内でのDBSクルーズフェリーのPR、ホームショッピング等で日本向けツアーの販売促進を実施してきた。</p> <p>今後は、より多様な商品の造成を図り、利用促進に繋げるとともに、日本人の利用が少ないことから日本人利用者増に向けた取組を実施する。</p>																				

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光戦略課（内線：7310）

1 目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東アジア市場誘客事業	89,857	61,257	28,600				89,857	
トータルコスト	99,383千円（前年度 70,791千円）〔正職員：1.2人〕							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標（指標）	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪問する東アジア市場（韓国・香港・中国）からの外国人観光客を増加させることにより、県内観光消費額の増大と本県観光産業の一層の発展を図るため、本県の国際定期便や近隣空港定期便、県内空港へのチャーター便を利用し、近隣各県や海外地方政府、民間事業者や海外メディア等と連携した情報発信などにより外国人観光客誘客に取り組む。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
韓国	47,857	(1) ソウル駐在員の配置（2名） (2) 観光情報をTV番組やSNS、新聞雑誌等でPR (3) 旅行会社・旅行雑誌・新聞等の県内招請 (4) エアソウルやDBSクルーズフェリー社と連携した情報発信・誘客事業
香港	40,000	(1) 香港駐在員の配置（1名） (2) 観光情報をTV番組やSNS、新聞雑誌等でPR (3) 旅行会社・旅行雑誌・新聞等の県内招請 (4) 香港航空と連携した情報発信・誘客事業
中国	2,000	(1) 旅行会社・旅行雑誌等の県内招請 (2) 観光情報をSNS、新聞雑誌等でPR
計	89,857	

※ SNS：インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションを図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス（social networking service）の略。Facebook（フェイスブック）など利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。

3 これまでの取組状況、改善点

本県インバウンド誘客の最重要市場である東アジア地域において、各市場への情報発信やメディア招請、旅行社と連携した旅行商品造成支援等などの誘客活動を実施している。

韓国市場は、エアソウルやDBSクルーズフェリー社と連携した情報発信（雑誌、ホームページ等での情報発信や利用者キャンペーンの展開）を行うとともに、個人旅行者を主たる顧客としている旅行会社と連携した情報発信、雑誌、テレビ等での情報発信に取り組んでいる。施策の実施に当たっては、米子ソウル便を利用して来県する韓国人観光客を対象としたアンケート結果を参考にし、効率的に行うよう努めている。

香港市場も同様に、米子香港便を利用して来県する香港人観光客を対象としたアンケート結果を参考に効率的な誘客対策に努めており、今後も継続して、テレビ・新聞・雑誌・インターネット・SNS等の各種メディアを活用し、主たる訪日層である個人旅行者へのきめ細かで機をとらえたプロモーションを行うとともに、旅行会社による団体ツアーの催行、個人旅行者向け旅行商品の販売促進に取り組む。

中国市場については、上海とのチャーター便の就航を見据えたプロモーションに努めてきた。引き続き、上海地域でのPRに努めるとともに、米子香港便を活用した香港周辺地域からの誘客を促進するため知名度向上に繋がる情報発信（SNSや雑誌等でPR）に取り組む。

今後も、増加が期待される個人旅行者向けのプロモーションを強化するほか、本県の魅力を最大限に情報発信し、対象市場における認知度向上のほか、リピーターの確保を図る。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7629）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
台湾市場誘客事業	15,500	10,000	5,500				15,500	
トータルコスト	23,438千円（前年度 17,945千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

訪日旅行客数が第3位であり、訪日リピーターの多い台湾からの観光客を誘致するため、情報発信やメディア招聘、旅行社と連携した旅行商品造成支援等などの誘客活動に取り組む。

また、チャーター便による観光客誘致を強力に進めるため、台北市・台中市を中心に本県の観光情報発信などに積極的に取り組む。

2 主な事業内容

（単位：千円）

内 容	予算額
台北・台中航空会社との連携によるPR	3,000
台北・台中市での一般市民向け観光説明会や商談会（県内観光事業者対象）の開催	2,000
鳥取県駐在員1名配置（メディア・雑誌社・ブロガー等との調整）	3,000
旅行会社、メディア・ブロガー等招聘	2,500
台湾での旅行博出展など観光プロモーション実施委託等	4,000
デジタルジャパン・地方連携事業【広島・岡山・島根連携事業】 （台湾での情報発信・メディア招聘等）	1,000
計	15,500

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 台湾全体からの誘客

台湾からの観光客誘致については、旅行博でのPR、旅行会社への送客要請、ソーシャルメディアでの情報発信を中心に取り組んできた。来年度は新たに鳥取県駐在員を台湾に配置し、一般市民向け観光説明会を複数回開催するなど個人旅行客の誘客を強化する。また、チャーター便については、昨年度台北市及び台中市から計11往復就航したが、更なる就航を目指し、航空会社及び旅行会社への働きかけを強化する。

(2) 台中市との観光交流

2018年1月に台中市と県が「友好交流協定」を締結し、相互のイベント参加や双方送客促進、チャーター便就航などを推進することとなった。

友好交流協定締結により、鳥取と台中とのチャーター便就航をはじめ、観光面において鳥取県の知名度を高めるための施策を一層進め、台中市との観光交流を促進する。

※ソーシャルメディア：インターネットを通じて不特定多数の利用者が情報をやりとりしたり、アイデアを共有したりする仕組みを指す。代表的なものにツイッターなどの簡易投稿サイトのほか、フェイスブックなどの交流サイト、YouTubeなど動画投稿サイトがある。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7629)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
シンガポール市場 誘客事業	9,000	9,000	0				9,000	
トータルコスト	16,938千円 (前年度 16,945千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	海外での広報活動、旅行商品造成・販売促進支援、海外調査・宣伝業務委託							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

近年、訪日客数が増加し続けているシンガポールは、富裕層が多く、訪日リピーターの多い市場であり、シンガポール人観光客は、東京、大阪、京都といった、いわゆる「ゴールデンルート」の次の目的地を求めている。

鳥取砂丘、大山といった「美しい自然」、カニ、梨などの「美味しい食」、さらに「まんが王国」など、鳥取県にはシンガポール人観光客に好まれる素材があるため、これらを前面に押し出した誘客の取組を強化し、ゴールデンルートの次に選ばれる訪問地を目指す。

2 主な事業内容

シンガポール市場の動向、シンガポール人観光客の嗜好を踏まえて、これまで連携している旅行社やメディアとの取組を強化するとともに、訪日旅行者の9割を占める個人客に向けた情報発信を行う。

<事業内容>

(単位: 千円)

内 容	予算額
本県への誘客で連携している旅行社との取組 (市民向け説明会等の実施、シンガポール旅行博出展、小学校交流など)	2,000
メディア説明会等の実施 (シンガポール現地メディア向け観光情報説明会の実施など)	2,000
シンガポール人に響く情報発信 (インターネットを活用した情報発信など)	3,000
旅行社・航空会社視察ツアーの実施など	2,000
計	9,000

3 これまでの取組状況、改善点

これまで旅行博覧会への出展やレストランでの観光・食一体となったプロモーション、さらに現地企業とのタイアップによるPRなどにより、シンガポールでの鳥取県の知名度は確実に上がりつつある。鳥取砂丘、大山、梨、カニ、和牛、名探偵コナンなど、鳥取が一番のもの、鳥取にしかないものをPRすることで他地域と差別化を図り、来県する観光客を増やしていく。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7629)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
伸びるASEAN誘客事業	14,100	14,100	0				14,100	
トータルコスト	22,038千円 (前年度 22,045千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	海外での広報活動、旅行商品造成・販売促進支援、海外調査・宣伝業務委託							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

訪日外国人観光客数の伸びが著しいASEAN(東南アジア諸国連合)からの誘客による本県観光産業の振興を図るために、現地旅行博等への出展や情報発信を行う。経済成長が著しく、訪日観光客数が急伸しているベトナム・フィリピンについては、ゴールデンルート(東京～大阪)の次の訪問地として訪日地方旅行の先駆地域を目指す。

また、米子香港便の乗り継ぎ活用による誘客を図るため、乗り継ぎの利便性が高いタイのメディア取材誘致等を実施する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
タイ	5,500	(1) タイ現地プロモーション委託(旅行社セールス等) (2) 現地旅行博等出展 (3) Facebookによる情報発信 (4) 鳥取・岡山ビジットジャパン地方連携事業(香港トランジット促進) タイ人気テレビ誘致
マレーシア	2,500	(1) 現地旅行博等出展 (2) 旅行会社・メディア視察ツアー (3) 岡山県と連携した視察ツアー
ベトナム	3,000	(1) 現地旅行博等出展 (2) Facebookによる情報発信 (3) 旅行会社・メディア視察ツアー
フィリピン	2,300	(1) 現地旅行博等出展 (2) 旅行会社・メディア視察ツアー
その他	800	新規市場向けの情報発信(インドネシア等)
計	14,100	

※フェイスブック(Facebook): フェイスブック社が提供するソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)。さまざまな情報交換に利用されており、画像や動画の投稿、他の利用者とのメッセージの交換などができる。

3 これまでの取組状況、改善点

韓国、香港、台湾、中国といった東アジアを中心とした誘客に加え、関西国際空港の定期便や、米子香港便の就航で誘客の可能性の広がった東南アジアは、旅行社へのセールスや現地での旅行博・説明会開催等の誘客プロモーションの効果が出てきており、宿泊者数が大きく増加している。

今後も、将来のインバウンド需要を取り込むために各国のニーズに合った戦略的な事業を展開する。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7310)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
東京オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップを活用した誘客促進事業	1,500	2,000	△500				1,500	
トータルコスト	3,088千円 (前年度3,589千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標 (指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

2019年のラグビーワールドカップ開催、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催は、世界の注目が日本に集まるため本県の魅力PRの絶好の機会でもあることから、来日する観光客の本県への誘客を目的に、旅行会社と連携した商品造成や認知度向上に向けたプロガー等を活用した情報発信を行う。

※プロガー: Webサイト上に日記や記録を公開・運営している人のこと。旅行情報を専門に掲載しているプロガーも多数存在する。

2 主な事業内容

ラグビー競技人口が多いイングランド、アメリカや香港便により来県が可能なオーストラリアやニュージーランド等を対象として本県への誘客を図る。

(1) 有名プロガー等を招請して情報発信を行い、本県の認知度向上を図る。

(2) 本県のフェイスブック等を使い、スポーツ観戦が好きで、かつ日本好き等のターゲットを設定し、本県の情報発信を行う。

(3) 旅行会社と連携し、本県を含む旅行商品や関西からのオプションツアー等の造成を図る。

※フェイスブック (Facebook): フェイスブック社が提供するソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)。さまざまな情報交換に利用されており、画像や動画の投稿、他の利用者とのメッセージの交換などができる。

※SNS: インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションを図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービス (social networking service) の略。フェイスブックなど利用者がプロフィールや写真を公開することが多い。

《参考》

○ラグビーワールドカップ概要

〔時期〕2019年9月20日 (金) ~ 11月2日 (土)

〔会場〕日本全国12ヶ所 (札幌、釜石、東京、横浜、静岡、豊田、神戸、東大阪他)

〔参加チーム数〕20チーム

〔試合数〕48試合

(1) プール戦 5チーム×4プール (プール内総当たり戦): 40試合

(2) 決勝トーナメント 準々決勝/準決勝/3位決定戦/決勝: 8試合

○鳥取に近い会場 (神戸市、東大阪市) で試合を行う国

英語圏	イングランド、アイルランド、アメリカ、南アフリカ他
その他	アルゼンチン、イタリア、フィジー他

○ラグビー競技人口 (出典: WEBサイト ラグビーHACK)

1位: イングランド211万6千人、2位: アメリカ152万9千人、

3位: フランス60万4千人、4位: 南アフリカ60万3千人、

5位: オーストラリア54万8千人、6位: 日本26万6千人 ~中略~

9位: アイルランド19万6千人

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課（内線：7221）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ロシアからの訪日観光客拡大事業	3,000	3,000	0	1,500			1,500	
トータルコスト	6,175千円（前年度 6,178千円）〔正職員：0.4人〕							
主な業務内容	旅行商品造成・販売促進支援、広報業務委託							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							
事業内容の説明				【「地方創生推進交付金」充当事業】				
1 事業の目的・概要								
鳥取県へのロシア人観光客の更なる増加を促進するため、交流地域である沿海地方を中心としてロシアからの定期航路等を利用した誘客を行う。								
2 主な事業内容 (単位：千円)								
区分	予算額	内容						
観光プロモーション委託	2,000	ロシア国内での鳥取県の知名度向上及び本県を訪問する観光客を増加させるため、沿海地方の広告代理店に委託し、現地プロモーションを実施する。						
ブロガー等招聘	1,000	You Tuber（動画共有サービスYouTube上で独自に制作した動画を継続的に公開する者）、パワーブロガー（影響力ある日記等を執筆している者）等を県内に招聘し観光情報を発信する。						
計	3,000							
3 これまでの取組状況、改善点								
鳥取県との交流地域であり環日本海定期貨客船DBSクルーズフェリーが停泊する沿海地方における観光客誘致を実施してきたところであるが、2016年12月の日露首脳会談を機に、2017年からロシア国民（一般旅券所持者）に対する短期滞在ビザの発給要件が緩和され、ロシアからの訪日観光客が増加しており、本県へのロシア人観光客もDBSクルーズフェリーを利用した大学生の研修旅行を実施するなど増加している。（2018年7月には、沿海地方の大学生約30名が研修旅行でDBSクルーズフェリーにて来県した。）								
引き続き、沿海地方の旅行会社へのきめ細かな情報提供を行うとともに、SNS等を活用した個人旅行者向けの情報発信を行い、本県への誘客を図る。								
環日本海定期貨客船航路利用促進費	4,600	4,600	0				4,600	
トータルコスト	6,981千円（前年度 6,984千円）〔正職員：0.3人〕							
主な業務内容	関係機関等との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
環日本海定期貨客船DBSクルーズフェリーの旅客利用のうち、特に一層の利用促進が必要な日本からの利用者の増加を図るための支援を行う。								
2 主な事業内容 (単位：千円)								
区分	予算額	内容						
国際定期便利用促進協議会負担金	1,100	○グループ旅行支援 4名以上のグループに対する経費の一部支援 ○修学旅行支援 修学旅行に対する国際旅客ターミナルまでの貸切バス費用の支援等						
シャトルバス運行委託費	3,500	国際旅客ターミナルと境港駅間のシャトルバス運行を委託する。						
計	4,600							
3 これまでの取組状況、改善点								
日本人向けのDBSクルーズフェリーを利用した韓国・ロシア行き旅行商品の造成に取り組んできたが、より多様な商品の造成を図り、利用促進につなげる。								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7629)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客送客促進事業	42,920	42,920	0				42,920	
トータルコスト	46,095千円 (前年度 46,510千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	関係機関との調整、補助金業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県を訪問する外国人観光客の増加により、県内観光消費額を増加させ、本県の観光産業振興を図る。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	内容	予算額
外国人観光客送客促進事業補助金	1 事業実施主体 訪日旅行を取り扱う旅行会社 2 補助対象事業 (1) 視察・モニターツアー実施経費 (2) 旅行商品の広報宣伝経費 (3) 販売促進ツール作成経費 (4) 旅行商品販売促進を自社ウェブサイトで行う場合の広報宣伝経費 (5) テレビホームショッピング番組放映に要する経費 (6) サイクリングツアーに係る経費 (7) トレッキングツアー及びウォーキングツアーに係る案内ガイド経費 (8) 貸切バスの借りに係る経費 条件: 県内1泊以上、上限2泊	40,920
外国人観光客誘致対策事業補助金	1 事業実施主体 国際定期便利用促進協議会 2 補助対象事業 国際定期便利用促進協議会が実施する外国人観光客誘致対策事業	2,000
計		42,920

3 これまでの取組状況、改善点

外国人観光客送客促進事業補助金活用による視察ツアーの実施により、温泉ツアーが催行されたり、また、テレビホームショッピング番組放映により来県客数が増加するなど、同補助金は誘客促進に有効なものとなっている。

今後も同補助金を効果的に活用しながら、本県と定期便で繋がっている韓国や香港、訪日客数の伸びが著しい東南アジアなどから、一層の誘客を図っていく。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光戦略課 (内線: 7310)

1 目 観光費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際観光推進費	25,104	45,800	△20,696				25,104	
トータルコスト	29,867千円 (前年度50,567千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県への外国人観光客を増加させ、観光産業の振興及び県内発着の国際定期便(米子ソウル便、米子香港便、環日本海定期貨客船)などの国際交通基盤の維持・発展に寄与するため、東京、関西、近隣各県や海外地方政府、民間事業者等と連携した情報発信やメディア招請などの誘客活動を実施する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容		
広域連携国際観光推進事業負担金	12,880	山陰・中国五県、東京、関西など、他の自治体と連携した外国人観光客誘致事業等に要する経費		
		区 分	予算額	目的・内容
		中国地区インバウンド誘致強化委員会負担金	7,800	中国五県連携訪日観光事業推進等
		京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金	1,000	ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信、インバウンド誘客
		関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金	800	観光案内所の運営経費(情報発信・情報収集業務)
		東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,300	東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)地域交流促進
		国際観光振興機構負担金	660	国内外の観光情報提供等
		東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金	820	東京を訪れた外国人観光客の地方への誘致
		山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金	500	レンタカーでの周遊促進事業
計	12,880			
JR西日本との連携事業	2,000	JR西日本、中国四国各県等と連携し、東アジア及び東南アジア市場へ誘客プロモーションを行う。		
外国人観光客倍增促進補助金	1,000	県内事業者を対象に、外国人観光客誘客のためのプロモーション経費等に対して補助金を交付する。		
多言語ホームページ管理・観光PRツール制作費	7,150	海外向け多言語観光ホームページ維持管理委託費及びPRツール制作等を行う。		
外国人観光案内所運営事業	2,074	米子駅外国人観光客案内所の運営費		
計	25,104			

3 これまでの取組状況、改善点

東京、関西、近隣各県や海外地方政府、民間事業者等と連携し、各市場への情報発信やメディア招請などの誘客活動を実施している。

今後も関係機関と連携し、JRバスやレンタカーなどを利用した広域周遊の促進など、外国人観光客のニーズに合わせたプロモーションを展開する。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課（内線：7639）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光交流局管理運営費	5,463	5,463	0				5,463	
トータルコスト	6,257千円（前年度 6,258千円） [正職員：0.1人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 観光交流局所掌事務に係る総合調整、庁内外との連携等を推進するための事務的経費である。								
職員人件費	259,904	261,091	△1,187			34	259,870	
事業内容の説明								
一般職員35名分（246,540千円）及び非常勤職員6名分（13,364千円）の人件費である。								
（終了）山陰デスティネーションキャンペーン推進事業	0	17,000	△17,000					
トータルコスト	0千円（前年度 18,589千円）							
事業内容の説明								
（終了）事業の目的を果たしたため								
（終了）東アジア地方政府観光フォーラム総会開催事業	0	23,000	△23,000					
トータルコスト	0千円（前年度 29,356千円）							
事業内容の説明								
（終了）事業の目的を果たしたため								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3987）

1 目 観光費（地方機関計上予算）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中部発！スポーツ ツーリズム推進事業	3,000	10,096	△7,096				3,000	
トータルコスト	6,175千円（前年度10,096千円） [正職員：0.4人]							
主な業務内容	事業企画・委託事務、補助金交付事務、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	ウォーキングを活用した地域づくりとインバウンドの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

ワールド・トレイルズ・カンファレンス（WTC）鳥取大会の成果を引き継ぎ、ウォーキングを活用した観光振興による地域活性化を一層進め、国内外からの誘客促進を図る。

また、倉吉市出身で倉吉市名誉市民でもある故・第53代横綱琴櫻（先代佐渡ヶ嶽親方）を記念する櫻杯争奪相撲選手権大会の開催等を支援し、歴史・伝統に根差した地域振興を図り、賑やかで活力ある地域づくりにつなげる。

2 主な事業内容

(1) ウォーキング大会への支援 2,000千円

国際的な大会へとステップアップを図る大会を支援する。

大会名称	SUN-IN未来ウォーク	SUN-IN未来100kmウォーク
時 期	6月1日～2日	11月（予定）
事業主体	SUN-IN未来ウォーク実行委員会	NPO法人未来
参加目標	3,000人以上	100～200人
補助対象	大会運営費、広報宣伝費等	大会運営費、広報宣伝費等
補助率等	定額（上限 1,000千円）	1/2（上限 1,000千円）

(2) 中部地区ロングトレイルイベントの開催 500千円

県内を横断するロングトレイルルートを策定したことを契機に、地域の方々にロングトレイルに親しんでいただくとともに、東部、西部と連携し、ロングトレイルルートの普及啓発につなげる。

委託先想定	ウォーキング関係団体
委託内容	イベントの企画・実施等

(3) 櫻杯争奪相撲選手権大会支援 500千円

○第41回櫻杯争奪相撲選手権大会開催（倉吉市）

○第35回わんぱく相撲全国大会派遣（両国国技館）

事業主体	桜相撲振興協議会
補助対象	会場設営費、広告宣伝費、わんぱく相撲全国大会への選手派遣経費 等
補助率等	定額（上限 400千円）
その他	記念品の購入のための報償費（100千円）

3. これまでの取組状況、改善点

- ・平成28年10月に、トレイル（自然歩道）による地域づくりの国際会議と県中部一円のウォーキング大会「第6回WTC鳥取大会」（主催：WTC鳥取大会実行委員会）を日本で初めて開催し、世界33カ国・地域から延べ4,500人が参加した。
- ・WTC鳥取大会の成果やネットワークを活かして、世界に通用するコースの整備や人材育成、ウォーキングコースの旅行商品化に取り組むとともに、県内を横断するロングトレイルルート策定されたことを記念したイベントを開催するなど、地域の自然や歴史を活かしたウォーキングによるツーリズムを推進した。
- ・昭和54年に第1回を開催した櫻杯争奪相撲選手権大会は、県内外からの参加者（小・中学生）や佐渡ヶ嶽部屋などの関係者を迎え、中国地方有数の相撲大会として定着している。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費

中部総合事務所地域振興局（電話：080-5622-3988）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域観光連携推進事業	21,058	21,178	△120				21,058	
トータルコスト	35,346千円（前年度29,123千円）〔正職員：1.8人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、企画調整							
工程表の政策目標（指標）	観光の振興							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取中部ふるさと広域連合（以下「広域連合」という。）と連携して、「鳥取中部広域観光ビジョン」に基づき中部圏域観光の飛躍的な発展を図るため、一般社団法人鳥取中部観光推進機構への支援を通じて、中部圏域の広域観光やインバウンド対応の強化を図る。

また、フラダンス全国大会などの観光誘客事業を実施し、観光地域づくり、観光交流人口の拡大等を図る。

2 主な事業内容

(1) 鳥取中部圏域広域観光連携推進事業 15,500千円

ア 観光誘客事業への支援（15,000千円）

広域連合が「鳥取中部広域観光ビジョン」に沿って中部圏域の観光を飛躍的に発展させるために、マーケティング等の強化を図りながら県施策と連携して実施する観光誘客事業について必要な経費の一部を補助する。

事業主体	広域連合
補助対象	人件費、広告宣伝費、委託料、プロモーション旅費 等
補助率等	1/2（上限 15,000千円）

イ 県職員の駐在に要する経費（500千円）

観光業務担当職員が広域連合に駐在するための使用料、役務費、負担金

(2) フラダンス全国大会開催支援事業 3,000千円

中部の元気を発信しながら、中部地震から福高のPR及び観光誘客により地元への経済効果を増加させるフラダンス全国大会開催について必要な経費の一部を補助する。

事業主体	モク・オ・ケアヴェ・インターナショナル・フラ・フェスティバル日本大会 in 鳥取実行委員会（事務局（一社）鳥取中部観光推進機構）
補助対象	フラダンス全国大会開催経費
補助率等	定額（上限 3,000千円）

(3) 活動経費 2,558千円

中部圏域の振興を図るため、地域資源の活用、広域観光、三徳山世界遺産登録運動等について、地域住民及び地元自治体等と連携して取り組む。

3 これまでの取組状況、改善点

- ・鳥取中部圏域広域観光連携モデル事業として、県の観光担当職員が広域連合に駐在して、広域連合と連携。「鳥取中部広域観光ビジョン」達成のため、「鳥取中部広域観光戦略会議」において取組の方向性や戦略を協議・検討し「癒しの鳥取中部」を情報発信。中部・東部を結ぶ定期観光バス等の2次交通整備、大山開山1300年祭との連携及び旅行商品の開発・プロモーション等を行い、圏域を超えた魅力創出と魅力発信、広域誘客にも取り組んだ。
- ・9月7日～9日に倉吉未来中心を主会場にフラダンス全国大会を開催し、延べ1,400名が来場したほか、期間中は中部管内各地域でフラダンスイベント（前夜祭、奉納フラなど）を開催した。
- ・中部圏域が有している温泉、食、日本遺産、ウォーキングリゾート、国立公園等の観光資源をベースに東部・西部圏域、岡山県北部（蒜山）とも連携した観光地域づくりを進め、一元的に情報発信するなど日本版DMOの強化等を図り、観光誘客事業を実施しながら戦略的に国内外からの観光客誘致を促進する。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9767）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源・内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業	80,601	147,657	△67,056	36,400			44,201	
トータルコスト	137,755千円（前年度 204,861千円）[正職員：7.2人]							
主な業務内容	イベント企画運営業務、補助金交付事務、関係機関との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	大山圏域における観光推進							

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

大山圏域における広域観光を促進するため、県及び圏域市町村等で構成する「広域観光連携組織体」を立ち上げ、1300年祭を通じて見出された地域の資源や魅力を活用し、圏域の情報発信及び観光誘客に継続的に取り組む。

2 主な事業内容

<事業の概要>

事業区分	内容
(1) 1300年祭推進事業	開山1300年祭を通じて見出された様々な地域の資源や魅力を効果的に活用する。
(2) 広域観光連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・日野郡を含めた県西部圏域の連携を強化、広域的な情報発信と大山圏域のブランド化を更に進め、誘客プロモーション等の情報発信を実施する。 ・大山圏域の二次交通確保対策を実施する。

<事業費>

（単位：千円）

事業区分	全体事業費	県負担額	(うち推進交付金)	市町村等負担額
(1) 1300年祭推進事業	112,603	56,301	26,400	56,302
(2) 広域観光連携推進事業	50,300	24,300	10,000	26,000
合計	162,903	80,601	36,400	82,302

3 新体制組織（案）

○名称：大山山麓・日野川流域観光推進協議会（仮称）

会 長：米子市長

構成員：県（西部総合事務所）、境港市、大山町、伯耆町、日吉津村、南部町、江府町 [大山山麓観光推進協議会会員]

※現在、協議会への加入、参画を働きかけている市町村・民間団体

- ・日南町、日野町 [大山山麓観光推進協議会オブザーバー]
- ・米子市観光協会

※今後、協議会との連携を図っていく市町村・民間団体

- ・倉吉市、三朝町、琴浦町 [1300年祭実行委員会委員]
- ・大山ブランド会、鳥取県西部地域活性化協会、圏域市町村観光協会などの経済団体、観光関係団体

○事務局：米子市役所に置き、県との共管事務局として事務を執行する。

※なお、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会については、大山開山1300年祭事業終了まで設置するものとし、事務局は新体制組織内に置く予定。

4 これまでの取組状況、改善

平成30年度の伯耆国「大山開山1300年祭」の本格展開により、大山の魅力（たいまつ行列・大献灯などの伝統文化、たたら・刀剣、トレイル、星空などの地域資源）の充実・掘り起こしができた。日野郡を含めた県西部圏域の連携を進め、国内外に向けた情報発信、大山のブランド化等に取り組み、さらなる観光誘客促進を図る。

5 事業概要

(1) 1300年祭推進事業 (112,603千円 [県負担:56,301千円]) ※主なもの
[市町村協働・連携事業]

事業名	内容	連携市町村
謎解き宝探し	大山寺地区や大山山麓の観光地等を舞台に、謎解きと宝箱探しを組み合わせた周遊型イベントを夏季に実施する。	大山・米子・倉吉・日南・日野・江府
秋のたいまつ行列	大山夏山開き祭のたいまつ行列に加え、9月下旬頃に「秋のたいまつ行列」を観光イベントとして開催する。夏とは趣が異なる「炎の河」の情景を演出する。	大山
東大山古道トレッキング	大山・関金をつなぐロングトレイルなど、東大山エリアの地域資源を活用したトレッキングイベントを複数回開催する。	倉吉・琴浦
大山紅葉満喫ウォーク	10月下旬の特定の日大山環状道路を車両通行止めにし、周辺での紅葉鑑賞とウォーキングを楽しむイベントを開催する。	大山、伯耆、江府
新しい「大山詣り」ホーリートレイル大会	大山古道を活用し、日本遺産のストーリー、当時の暮らしに思いを馳せながら、歴史・文化・自然・食を一度に満喫できるトレイルハイクイベントを開催する。	大山
米子城ライトアップ	8月のお盆期間等に合わせ、米子城天守、二ノ丸石垣のライトアップを実施する。	米子
刀剣・たたら関連イベント	「安綱のふるさと」として刀剣の歴史等を学ぶ機会を創出するほか、刀剣の歴史に触れるイベントを開催する。	米子、倉吉、伯耆、日南、日野
大山の大献灯	大山夏の風物詩「お盆の大献灯」を期間拡大し9月にも数日間開催する。	大山
妖怪ナイトウォーク	水木しげるロードの夜間照明を活用しつつ夜のロードを練り歩くイベントを夏場の週末を中心に実施する。	境港
福万来ホテル乃国 2019	6月下旬から7月にかけて、福万来のホテル観賞地において、観光案内や無料シャトルバス運行などを行う。	日南

[協議会直営事業]

事業名	内容
大山圏域魅力向上補助金	1300年祭を機に、地元観光協会等によるガイド育成や圏域の魅力向上につながるイベントなど地域の団体等の自主的な取組を支援する。(10団体想定)
大山ブランドPR事業	県外で開催される「食」のイベントなどへの出展、雑誌への大山グルメやお土産などのスポット等の紹介記事掲載、大山ブランドをPRする団体の活動支援などを通じて大山ブランドをPRする。

(2) 広域観光連携推進事業 (50,300千円 [県負担:24,300千円]) ※主なもの

事業名	内容
圏域連携・商品づくり事業	圏域認知度向上のため、大山圏域における新たな観光素材(ワイルドキャンプなど)を使ったモニターツアーを年間2回程度実施する。
情報発信事業	WEB等を活用した情報発信や新聞社のプレゼント付きパブリシティ、県外での観光フェアなど催事への出展によるPRを実施する。
広域観光連携体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 大山山麓・日野川流域交流事業 日野郡の野菜市場や伝統芸能ステージなどの催事を米子市中心市街地(える・もーる商店街を想定)で開催する。 皆生温泉地域を拠点としたスポーツ・エコツーリズムコーディネート事業 県・市が圏域のコーディネーターとなり、大山山麓地域や日野川流域にある体験型観光資源(アクティビティ)を効果的に情報発信し、誘客促進と地域の活性化を図る。
西部圏域版周遊バスと情報提供アプリによる周遊促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 大山ミニる〜ぶバス事業 大山圏域の観光施設を巡る観光バス「大山ミニる〜ぶバス」を運行する。(概ね10コースを設定し、それぞれ3回程度の催行を予定)
大山エコトラックステム構築事業	<ul style="list-style-type: none"> グリーンシーズンのツアー等メニューの充実と受入れ態勢を整備する。 インバウンド客を意識したスノーツアー商品を造成する。
二次交通環境整備事業	大山圏域に点在する様々な観光地を有機的に接続して周遊型観光につなげるため、米子から大山圏域への二次交通環境を整備する。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9372）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
大山中海振興費	5,788	8,554	△2,766				5,788	
トータルコスト	12,138千円（前年度14,910千円）[正職員：0.8人、非常勤職員：1.0人]							
主な業務内容	大山足湯整備補助金及び大山寺参道にぎわい活性化事業補助金の支払い、観光情報の収集及び発信等							
工程表の政策目標(指標)	とっとりスタイルエコツーリズムの推進、スポーツツーリズムの推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 大山寺参道の施設整備に対する支援、西部管内における国際リゾート推進に向けた観光情報の収集及び発信等を行う。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 大山足湯整備補助金（平成31年度分 [H22～H31]） 193千円 (2) 大山寺参道にぎわい活性化事業補助金（平成31年度分 [H29～H38]） 2,893千円 (3) 標準事務費 2,702千円</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 大山寺参道の足湯整備、にぎわい活性化等、観光客にとって、より地域の魅力を享受しやすい環境整備を進めてきた。</p>								
(終了) 伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典等開催事業	0	39,722	△39,722					
トータルコスト	0千円（前年度 44,489千円）							
事業内容の説明								
(終了) 平成30年度単年度事業として実施したため								
(終了) とっとりスタイルエコツーリズム「住まうように旅する」推進事業	0	750	△750					
トータルコスト	0千円（前年度 10,284千円）							
事業内容の説明								
(終了) 事業終了のため								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7123)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)外国人総合相談センター(仮称)運営事業	20,000	0	20,000	10,000			10,000	
トータルコスト	21,588千円(前年度 0千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	センター運営に係る連絡調整、運営業務の委託団体との契約事務等							
工程表の政策目標(指標)	多文化共生社会の構築							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

平成30年12月の入国管理法改正により新たな在留資格(特定技能)が創設され、本県でも在住外国人の増加が見込まれることから、外国人が安心して訪問、生活できる多文化共生社会をさらに推進していくため、平成31年4月に「外国人総合相談センター(仮称)」を開設し、県内在住外国人の総合的な生活支援を実施する。

2 主な事業内容

＜外国人総合相談センター(仮称)の運営＞(20,000千円)

県内在住外国人の増加に対応し、外国人の方に寄り添った多文化共生の取組を推進するため、雇用、在留手続、子育て、教育といった生活全般の情報発信及び相談窓口として多言語対応の「外国人総合相談センター(仮称)」を運営する。

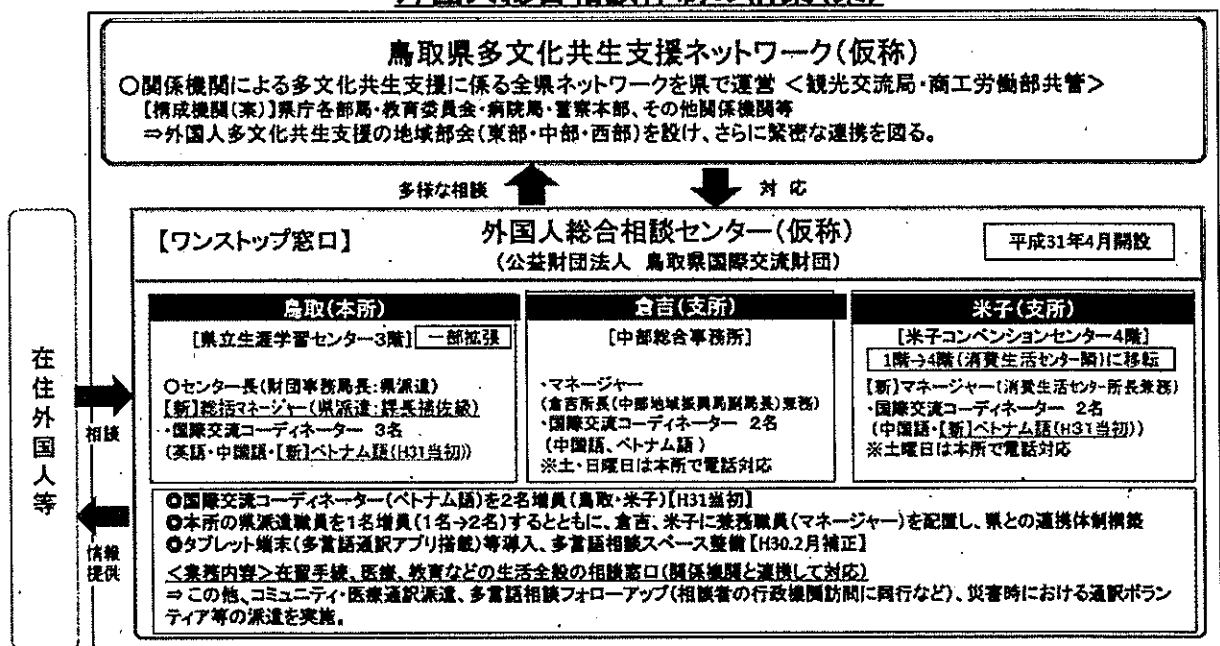
○予算額: 20,000千円(委託料) ※外国人受入環境整備交付金充当(国1/2: 上限10,000千円)

○委託先: 公益財団法人鳥取県国際交流財団

○概要:

- ・外国人の在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て、教育等の情報提供、相談の一元的窓口を運営する。(県内3カ所の国際交流財団本所・支所(鳥取、倉吉、米子)に開設)
- ・県内の実情に合わせた多言語相談等の体制整備(ベトナム語対応職員(2名)の新規配置等)

外国人総合相談体制の構築(案)



3 これまでの取組状況、改善点

- ・雇用・生活相談のワンストップ窓口を開設することにより、在住外国人が働きやすく、暮らしやすい環境を整備することができる。
- ・在住外国人から相談については、英語、中国語に加えて、近年増加が著しいベトナム人に対応するため、ベトナム語対応職員の配置を行う。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課（内線：7842）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 江原道友好交流 25周年記念事業	10,800	0	10,800			(雑入) 6,000	4,800	
トータルコスト	13,975千円（前年度 0千円）[正職員：0.4人]							
主な業務内容	記念式典・シンポジウム・青少年交流に係る企画・立案・各種契約、関係部局等との連絡調整、資料作成・各種翻訳、当日運営等							
工程表の政策目標（指標）	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進							

1 事業の目的・概要

鳥取県と韓国江原道との友好提携25周年を契機とした両県道の一層の友好促進及び県民への国際理解を図るため、両県道知事及び県・道民が参加する記念事業を実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

項目	概要	予算額
訪問団の派遣	[場所] 江原道 [時期] 2019年秋頃 [内容] ○訪問団派遣 (約30名：行政団4名、交流関係者10名、芸能団15名) ○江原道が開催する記念行事への出席	4,800
訪問団の受入、 25周年記念式典	[場所] 鳥取県内 [時期] 2019年秋頃 [内容] ○訪問団受入 ○25周年記念式典 ・交流の歴史と成果等についての発表 ・草の根日韓交流の貢献者への感謝状、事例発表 ・交流の歴史パネル展 ・交流レセプション ・江原道開催の式典に訪問団派遣	
日韓交流 シンポジウム	[場所] 鳥取県内 [時期] 2019年10月下旬～11月上旬 [内容] 基調講演、パネルディスカッション、大学生プレゼンテーション	3,000
青少年交流	[場所] 江原道および鳥取県内 [時期] 2019年7月～9月頃 [内容] 両地域大学生相互派遣、地域活動団体の視察等のグループワーク	3,000

3 これまでの取組状況、改善点

鳥取県と江原道は1994年に友好提携を締結して以来、福祉・文化・環境・水産・産業・青少年・スポーツなど多岐にわたって交流を続けている。

2019年に友好交流25周年を迎えることを記念し、両地域の未来の発展に向けて、青少年交流を中心とした交流の拡充を図り、更に今後の交流のステージアップにつなげていくため、様々な団体と連携した全県的なイベントを展開する。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
 2項 企画費
 1目 企画総務費

交流推進課（内線：7122）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）吉林省友好交流 25周年記念事業	1,214	0	1,214				1,214	
トータルコスト	5,183千円（前年度 0千円）[正職員：0.5人]							
主な業務内容	記念行事に係る企画・立案、関係部局等との連絡調整、資料作成・各種翻訳、行事の運営など							
工程表の政策目標（指標）	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県と中国吉林省との友好交流25周年を契機として、吉林省との交流の柱である「人的交流」と「経済交流」の成果を振り返り、両県の間を一層発展させるための記念事業を実施する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

項目	概要	予算額
訪問団の派遣	[場所] 吉林省長春市 [時期] 平成31年8月下旬 [内容] 吉林省が開催する記念行事への出席	1,214
訪問団の受入	[場所] 鳥取県内 [時期] 平成31年10月下旬～11月上旬 [内容] 鳥取県と吉林省との交流のあゆみパネル展の開催など	標準事務費対応

3 これまでの取組状況、改善点

吉林省とは平成29年度に友好県省協定を締結した。それまで23年来交流を続けてきた吉林省と正式な協定を締結したことを契機に、吉林省内での鳥取県との交流事業の位置づけが変わり交流事業が活発になっている（DBSザルビノ航路延伸、ADAS（先進運転支援システム）・EV（電気自動車）プロジェクト、職員相互派遣事業、青少年交流事業など）。今後もこの関係を維持し、一層発展させる。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課 (内線: 7842)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
(新) 第25回環日本海拠点都市会議開催支援事業	3,751	0	3,751				3,751											
トータルコスト	4,545千円 (前年度0千円) [正職員: 0.1人]																	
主な業務内容	補助金交付事務、関係市との連絡調整																	
工程表の政策目標(指標)	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>環日本海圏域都市の首長が一堂に会し交流と発展について話し合う「第25回環日本海拠点都市会議」が米子市で開催されることから、広域的な地域間交流と経済振興のため、県としても支援を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>開催市(米子市)に対して開催経費のうち補助対象経費の1/3を補助する。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>時 期</td> <td>平成31年10月下旬</td> </tr> <tr> <td>構成団体</td> <td>日本: 米子市(開催市)、境港市、鳥取市 韓国: 束草市、東海市、浦項市(慶尚北道) 中国: 琿春市、延吉市、図們市 ロシア: ウラジオストク市、ナホトカ市、ハサン区</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>米子市(米子コンベンションセンター)</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>会議、レセプション、県内視察など</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>3,751千円(補助率1/3)</td> </tr> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>同会議は、日中韓露の環日本海圏域の都市が、経済交流や国際交流を拡大し、圏域内交流の促進に向けた協力関係を強化するために行われており、県内自治体の国際交流の促進や米子ソウル便・DBS航路の利用促進に資することから、開催経費を補助している。</p> <p>本県での開催に当たり、平成27年の第21回会議(境港市開催)から、負担割合を県と開催市の1/2ずつから県、開催市及び共催市(開催市を除く県内参加の2市)が1/3ずつに見直した。</p>									時 期	平成31年10月下旬	構成団体	日本: 米子市(開催市)、境港市、鳥取市 韓国: 束草市、東海市、浦項市(慶尚北道) 中国: 琿春市、延吉市、図們市 ロシア: ウラジオストク市、ナホトカ市、ハサン区	場 所	米子市(米子コンベンションセンター)	内 容	会議、レセプション、県内視察など	事業費	3,751千円(補助率1/3)
時 期	平成31年10月下旬																	
構成団体	日本: 米子市(開催市)、境港市、鳥取市 韓国: 束草市、東海市、浦項市(慶尚北道) 中国: 琿春市、延吉市、図們市 ロシア: ウラジオストク市、ナホトカ市、ハサン区																	
場 所	米子市(米子コンベンションセンター)																	
内 容	会議、レセプション、県内視察など																	
事業費	3,751千円(補助率1/3)																	
第24回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業	1,250	1,250	0				1,250											
トータルコスト	10,776千円 (前年度 10,784千円) [正職員: 1.2人]																	
主な業務内容	関係機関との連絡調整、情報収集及び資料作成、実務代表者会議、本会議への参加																	
工程表の政策目標(指標)	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県と本県の友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方及びモンゴル中央県の首長が一堂に会し、各地域の共同発展、繁栄を話し合うため、モンゴル中央県で開催される「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に鳥取県代表団を派遣する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットへの参加(7月(予定)・モンゴル中央県開催)</p> <p>(2) 実務代表者会議(サミット事前準備会合)への参加(4月(予定)・モンゴル中央県開催)</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>鳥取県、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方が、平成6(1994)年から開催(平成12(2000)年からモンゴル中央県が参加)しており、これまで、サミットでの合意により、経済協議会、環境保護機関実務者協議会等が設立された。さらに、DBS航路、米子-ソウル便の利用促進に対する相互協力等についても合意がなされるなど、各分野での相互連携、協力の契機となっている。</p>																		

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課（内線：7122）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
多地域連携スポーツ交流事業	2,552	2,117	435				2,552																
トータルコスト	5,727千円（前年度 4,501千円） [正職員：0.4人]																						
主な業務内容	関係地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、来県者への随行、通訳等																						
工程表の政策目標(指標)	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの合意事項に基づき、友好交流地域が開催するスポーツイベントへの参加等を通じ、多地域間の青少年の交流や相互協力の拡大を図る。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>3 地域（鳥取県、江原道、沿海地方）青少年スポーツ交流事業</p> <p>・バドミントン及び卓球のスポーツ交流（場所：鳥取県、時期：8月予定、各16名程度）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>北東アジア地域において国際的なスポーツイベントが続くことから、スポーツを切り口とした地域振興や青少年交流に積極的に取り組んでいる。</p>																							
ロシア極東地域交流推進事業	1,464	1,175	289				1,464																
トータルコスト	17,340千円（前年度 17,065千円） [正職員：2.0人]																						
主な業務内容	ロシア極東地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等																						
工程表の政策目標(指標)	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>ロシア極東地域との交流を推進するため、「青少年交流」、「交流地域での鳥取県PR」、「県民向けのロシア紹介」を柱とする取組を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 青少年交流</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">内 容</th> <th style="text-align: center;">時 期</th> <th style="text-align: center;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県受入れ</td> <td style="text-align: center;">7月頃</td> <td style="text-align: center;">7名程度</td> </tr> <tr> <td>ロシア沿海地方青少年環境交流団の鳥取県受入れ</td> <td style="text-align: center;">8月頃</td> <td style="text-align: center;">10名程度</td> </tr> <tr> <td>鳥取県青少年柔道交流団のロシア沿海地方派遣</td> <td style="text-align: center;">8月頃</td> <td style="text-align: center;">6名程度</td> </tr> <tr> <td>ロシア極東囲碁交流団の鳥取県受入れ</td> <td style="text-align: center;">10月頃</td> <td style="text-align: center;">10名程度</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 交流地域での鳥取県PR</p> <p>第10回鳥取県文化デイズ（時期：10月頃、場所：沿海地方又はハバロフスク地方）</p> <p>(3) 県民向けのロシア紹介</p> <p>国際交流員によるロシア講座（ロシアの歴史・文化等の紹介、ロシア料理・手芸体験等）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>ロシア極東地域において多分野の交流事業を実施し、鳥取県の認知度は非常に高まってきた。日露知事会議の再開等、新たな動きが生まれていることを背景に、今後、より一層の交流発展を図る。</p>									内 容	時 期	人 数	ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県受入れ	7月頃	7名程度	ロシア沿海地方青少年環境交流団の鳥取県受入れ	8月頃	10名程度	鳥取県青少年柔道交流団のロシア沿海地方派遣	8月頃	6名程度	ロシア極東囲碁交流団の鳥取県受入れ	10月頃	10名程度
内 容	時 期	人 数																					
ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県受入れ	7月頃	7名程度																					
ロシア沿海地方青少年環境交流団の鳥取県受入れ	8月頃	10名程度																					
鳥取県青少年柔道交流団のロシア沿海地方派遣	8月頃	6名程度																					
ロシア極東囲碁交流団の鳥取県受入れ	10月頃	10名程度																					

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7842）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
韓国交流推進事業	5,461	5,461	0				5,461	
トータルコスト	21,337千円（前年度 21,351千円）〔正職員：2.0人〕							
主な業務内容	韓国（江原道）との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
韓国（江原道）との交流を推進するため、鳥取県及び江原道の職員の相互派遣等を通じた様々な分野における情報交換や江陵国際青少年芸術祝典への青少年団の派遣等を行う。併せて、琴浦町の日韓友好資料館の展示運営を支援するとともに、韓国語学習者の発表大会を開催する。								
2 主な事業内容 （単位：千円）								
			内 容	時 期	予 算 額			
			江原道職員（1名）の受入や交流協議団の相互派遣等	通年	3,665			
			江陵国際青少年芸術祝典への青少年団（10名程度）の派遣	7月下旬	456			
			琴浦町日韓友好資料館企画運営委員会への助成（琴浦町と同額負担）	通年	200			
			「話してみよう韓国語」鳥取大会開催	12月頃	1,140			
3 これまでの取組状況、改善点								
鳥取県と江原道間の相互理解の促進並びに人的ネットワークの構築に寄与している。これまでの交流の積み重ねを基礎として、一層の交流発展を図る。								
中国交流推進事業	3,020	2,089	931				3,020	
トータルコスト	10,958千円（前年度 10,034千円）〔正職員：1.0人〕							
主な業務内容	中国（吉林省・河北省・香港）との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
中国との交流を推進するため、友好交流地域である河北省及び吉林省並びに米子鬼太郎空港に定期便が就航する香港と青少年交流を実施する。								
2 主な事業内容								
			内 容	時 期	人 数			
			吉林省県費留学生受入事業	通年	1名			
			河北省青少年交流事業（派遣・県内イベント開催）	10月	8名程度			
			香港青年交流事業（受入）	7月	15名程度			
3 これまでの取組状況、改善点								
河北省とは昭和61(1986)年に友好提携、吉林省とは平成6(1994)年に友好交流の覚書、平成29(2017)年に友好県省提携し、交流を推進してきた。これからは特に次代の交流を担う人材育成を念頭に置き、交流を推進する。								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
 2項 企画費
 1目 企画総務費

交流推進課（内線：7122）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																					
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																						
モンゴル中央県交流推進事業	3,757	3,480	277				3,757																						
トータルコスト	10,107千円（前年度 9,836千円） [正職員：0.8人]																												
主な業務内容	モンゴル（中央県）との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等																												
工程表の政策目標(指標)	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進																												
事業内容の説明																													
1 事業の目的・概要																													
モンゴル中央県との交流を推進するため、医療分野、農業分野での交流事業を行うほか、青少年交流として中央県出身者の県内大学への留学支援、県内高校生の中央県派遣を行う。																													
2 主な事業内容																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">時 期</th> <th style="width: 20%;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療専門家派遣事業</td> <td style="text-align: center;">9月</td> <td style="text-align: center;">2名程度</td> </tr> <tr> <td>農業専門家派遣事業</td> <td style="text-align: center;">8月</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>農業研修員受入事業</td> <td style="text-align: center;">9～11月</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>行政実務研修生受入事業</td> <td style="text-align: center;">2月</td> <td style="text-align: center;">3名程度</td> </tr> <tr> <td>中央県からの留学生への奨学金</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>青少年交流事業（派遣）</td> <td style="text-align: center;">7月</td> <td style="text-align: center;">5名程度</td> </tr> </tbody> </table>									内 容	時 期	人 数	医療専門家派遣事業	9月	2名程度	農業専門家派遣事業	8月	1名	農業研修員受入事業	9～11月	1名	行政実務研修生受入事業	2月	3名程度	中央県からの留学生への奨学金	—	1名	青少年交流事業（派遣）	7月	5名程度
内 容	時 期	人 数																											
医療専門家派遣事業	9月	2名程度																											
農業専門家派遣事業	8月	1名																											
農業研修員受入事業	9～11月	1名																											
行政実務研修生受入事業	2月	3名程度																											
中央県からの留学生への奨学金	—	1名																											
青少年交流事業（派遣）	7月	5名程度																											
3 これまでの取組状況、改善点																													
モンゴル中央県とは平成9年に友好交流の覚書に調印し、青少年、農業、医療分野などの交流を深めてきた。鳥取県モンゴル中央県親善協会等の民間団体や医療機関と連携しながら、交流を推進する。																													
台湾交流推進事業	1,292	1,034	258	67			1,225																						
トータルコスト	8,436千円（前年度 10,568千円） [正職員：0.9人]																												
主な業務内容	台湾との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等																												
工程表の政策目標(指標)	北東アジアの友好交流地域との国際交流の積極的な推進																												
事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】																													
1 事業の目的・概要																													
台湾台中市との交流を推進するため、台湾で日本語を履修する大学生を対象に、県内宿泊施設での職場体験を実施するとともに、台中市サマースクール団の受入れ、鳥取県で開催される自転車イベント等への招聘及び友好交流協定締結を記念したイベントを行う。																													
2 主な事業内容																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">時 期</th> <th style="width: 20%;">人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外大学生インターンシップ（体験就業）受入</td> <td style="text-align: center;">7～8月</td> <td style="text-align: center;">50名程度</td> </tr> <tr> <td>台中市サマースクール団受入（隔年相互派遣）</td> <td style="text-align: center;">1～2月</td> <td style="text-align: center;">20名程度</td> </tr> <tr> <td>自転車交流事業（県内イベントへの受入）</td> <td style="text-align: center;">10月</td> <td style="text-align: center;">10名程度</td> </tr> <tr> <td>（新）台湾フェスタ（台湾料理の提供等）</td> <td style="text-align: center;">夏頃</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>									内 容	時 期	人 数	海外大学生インターンシップ（体験就業）受入	7～8月	50名程度	台中市サマースクール団受入（隔年相互派遣）	1～2月	20名程度	自転車交流事業（県内イベントへの受入）	10月	10名程度	（新）台湾フェスタ（台湾料理の提供等）	夏頃	—						
内 容	時 期	人 数																											
海外大学生インターンシップ（体験就業）受入	7～8月	50名程度																											
台中市サマースクール団受入（隔年相互派遣）	1～2月	20名程度																											
自転車交流事業（県内イベントへの受入）	10月	10名程度																											
（新）台湾フェスタ（台湾料理の提供等）	夏頃	—																											
3 これまでの取組状況、改善点																													
梨穂木の取引を縁に始まった台中県との交流は、台中市となった以降も芸能団派遣や青少年の相互派遣が継続して実施され、本県の知名度向上と相互理解の深化に繋がってきた。平成30年11月に友好交流協定を締結し、今後は同市とのこれまでの交流実績を基盤としながら、自転車を切り口とした観光交流等にも取組を拡大し、交流を推進する。																													

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7595)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
(新) 米国バーモント州交流推進事業	315	0	315				315																			
トータルコスト	1,109千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.1人]																									
主な業務内容	米国バーモント州・鳥取県両地域高校間の姉妹校提携に係る交流協議実施																									
工程表の政策目標(指標)	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進																									
事業内容の説明																										
<p>1 事業の目的・概要 平成30年7月に姉妹提携を行った米国バーモント州との交流を進めるため、同州エセックス高校と鳥取商業高校が検討を進めている姉妹校提携の取組の具体化を図る。</p> <p>2 主な事業内容 バーモント州エセックス高校など、バーモント州関係者との協議を行う。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 平成20年にバーモント州と友好交流の覚書を締結し、平成30年7月には姉妹提携を行った。今後、これまで進めてきている青少年交流を中心に幅広い交流が進むよう、取組を進めていく。 [関連事業] ・鳥取県国際交流財団助成事業 米国バーモント州との青少年交流推進事業 7,739千円</p>																										
ジャマイカ・ウェストモアランド県交流推進事業	12,809	19,970	△7,161			(基金繰入金) 12,809																				
トータルコスト	20,747千円 (前年度 27,915千円) [正職員: 1.0人]																									
主な業務内容	ジャマイカ・ウェストモアランド県との各種交流事業 など																									
工程表の政策目標(指標)	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進																									
事業内容の説明 [「鳥取元気づくり推進基金」充当事業]																										
<p>1 事業の目的・概要 平成28年3月に姉妹提携を行ったジャマイカ・ウェストモアランド県との交流を推進するため、各種交流事業を実施する。</p> <p>2 主な事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内 容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員派遣事業</td> <td>県職員をJICAの青年海外協力隊としてウェストモアランド県に派遣する。[期間: 平成31年1月~平成33年1月 / 人数: 1名]</td> <td style="text-align: center;">1,476</td> </tr> <tr> <td>青少年交流事業</td> <td>県内青少年を派遣し、日本文化発信や現地高校生等との交流を行う。[人数: 10名程度]</td> <td style="text-align: center;">6,639</td> </tr> <tr> <td>ウェストモアランド県PR事業</td> <td>ジャマイカ選手団の東京五輪事前キャンプで受入れの1年前となるのを機に、姉妹提携先のウェストモアランド県との交流を広く県民に周知し親しみを感じてもらえるよう、イベントを開催する。</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> </tr> <tr> <td>マラソン交流事業</td> <td>鳥取マラソン(3月)とウェストモアランド県で開催される世界的に有名なレゲエマラソン(12月)に選手を相互派遣し、スポーツ交流を行う。 [人数: 派遣・受入ともに各2名程度(男女1名ずつを想定)]</td> <td style="text-align: center;">2,974</td> </tr> <tr> <td>友好交流・国際貢献事業</td> <td>当地で課題となっている分野へ本県の技術者を派遣し技術支援を行う。</td> <td style="text-align: center;">720</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 これまでの取組状況、改善点 平成28年3月に姉妹提携を締結し、様々な分野で交流が進んでいる。2020年東京五輪におけるジャマイカ選手団事前キャンプ地としての機運醸成が進んでおり、一層の交流を進めていく。</p>									事業名	内 容	予算額	職員派遣事業	県職員をJICAの青年海外協力隊としてウェストモアランド県に派遣する。[期間: 平成31年1月~平成33年1月 / 人数: 1名]	1,476	青少年交流事業	県内青少年を派遣し、日本文化発信や現地高校生等との交流を行う。[人数: 10名程度]	6,639	ウェストモアランド県PR事業	ジャマイカ選手団の東京五輪事前キャンプで受入れの1年前となるのを機に、姉妹提携先のウェストモアランド県との交流を広く県民に周知し親しみを感じてもらえるよう、イベントを開催する。	1,000	マラソン交流事業	鳥取マラソン(3月)とウェストモアランド県で開催される世界的に有名なレゲエマラソン(12月)に選手を相互派遣し、スポーツ交流を行う。 [人数: 派遣・受入ともに各2名程度(男女1名ずつを想定)]	2,974	友好交流・国際貢献事業	当地で課題となっている分野へ本県の技術者を派遣し技術支援を行う。	720
事業名	内 容	予算額																								
職員派遣事業	県職員をJICAの青年海外協力隊としてウェストモアランド県に派遣する。[期間: 平成31年1月~平成33年1月 / 人数: 1名]	1,476																								
青少年交流事業	県内青少年を派遣し、日本文化発信や現地高校生等との交流を行う。[人数: 10名程度]	6,639																								
ウェストモアランド県PR事業	ジャマイカ選手団の東京五輪事前キャンプで受入れの1年前となるのを機に、姉妹提携先のウェストモアランド県との交流を広く県民に周知し親しみを感じてもらえるよう、イベントを開催する。	1,000																								
マラソン交流事業	鳥取マラソン(3月)とウェストモアランド県で開催される世界的に有名なレゲエマラソン(12月)に選手を相互派遣し、スポーツ交流を行う。 [人数: 派遣・受入ともに各2名程度(男女1名ずつを想定)]	2,974																								
友好交流・国際貢献事業	当地で課題となっている分野へ本県の技術者を派遣し技術支援を行う。	720																								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ブラジル交流促進事業	7,403	6,870	533				7,403	
トータルコスト	19,310千円（前年度 18,788千円） [正職員：1.5人]							
主な業務内容	研修員・留学生受入に係る連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務、ブラジルにおける日本語指導・地域での交流活動、日本語指導員の派遣等							
工程表の政策目標(指標)	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県とブラジル鳥取県人会との今後の交流の継続・発展並びに更なる民間交流の促進を図るため、各種の交流事業を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 技術研修員・留学生受入事業（6,670千円） ブラジルに在住する鳥取県出身者の子弟に対し、本県における技術研修、修学の場を設け、交流を推進するとともに、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。（研修員1名、留学生1名）</p> <p>(2) 中堅リーダー交流（受入）（733千円） ・ブラジルから中堅リーダー（2名）を受け入れ、民間主体による自立した交流の活性化を図る。</p> <p>(3) 日本語指導員派遣事業・教員派遣研修事業 ・第二アリアンサ鳥取村へ教員1名を派遣、駐在させ、日本語指導等を行うほか、教員1名を短期研修派遣し、ブラジルとの交流推進を図る。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>留学生・研修生にとっては専門的な知識・技術を学ぶことはもとより、日本語・日本文化を学ぶ機会にもなっており、帰国後のブラジル移住者の地位向上に貢献している。また、各事業とも世代交代が進む県人会の活動を活性化させるものとして、関係者からの評価も高い。</p>								
自治体職員協力交流事業	7,900	7,397	503				7,900	
トータルコスト	9,488千円（前年度 8,986千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	研修機関等との連絡調整、委託契約事務 等							
工程表の政策目標(指標)	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県の友好交流先との関係を強化するため、中国・吉林省、ジャマイカ・ウェストモアランド県の職員を研修員として受け入れる。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 受入人数：2名（予定：中国・吉林省1名、ジャマイカ・ウェストモアランド県1名）</p> <p>(2) 受入時期：5月中旬に来日し、全国市町村国際文化研修所で約1か月の日本語研修を受講後に来県し、翌年3月中旬の帰国まで県庁等で専門研修を受講する。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○平成8年から受け入れを開始し、現在までに計35名を受け入れている。 （内訳：吉林省19名、江原道10名、ウェストモアランド県2名、その他4名）</p> <p>○研修員は、帰国後も本県と派遣元地域との交流を継続し、深めていく上で欠かせない人材となっている。</p>								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課（内線：7842）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際交流財団助成事業	52,743	69,097	△16,354				52,743	
トータルコスト	57,506千円（前年度 73,864千円） [正職員：0.6人]							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標(指標)	多文化共生社会の構築							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県における国際交流推進の基盤づくりと国際交流活動の支援、並びに多文化共生社会の推進のため、公益財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成等を行う。

2 主な事業内容

(1) 公益財団法人鳥取県国際交流財団への助成（51,792千円）

（単位：千円）

事業名	補助額	補助率	内 容（主な増減項目）
ア 多言語情報発信事業	1,218	1/2	ホームページ運営（239） メールマガジン配信（197） 機関紙発行（782）
イ コミュニケーション支援事業	2,090	3/4	日本語クラス運営（2,017） 防災・災害時支援（防災教室）（73） 〔多言語相談業務、国際交流コーディネーター配置、専門通訳ボランティア派遣（医療通訳等） →「外国人総合相談センター（仮称）運営事業」で実施〕
ウ 人材の育成事業	1,855	10/10	日本語講師・ボランティア養成講座（1,855） 〔専門通訳ボランティア育成事業 →「外国人総合相談センター（仮称）運営事業」で実施〕
エ 県民の国際理解推進事業	7,739	10/10	米国バーモント州との青少年交流促進事業（7,739）
オ 私費留学生奨学金の支給	3,632	10/10	県内大学在籍の私費留学生への奨学金支給（3,632）
カ 事務所費、運営費	35,258	10/10	事務所運営（9,828） 職員人件費（11人分）（25,430） 〔※人件費の一部を「外国人総合相談センター（仮称）運営事業」に計上〕

(2) 多文化共生サポーター制度運用委託（951千円）

多文化共生社会を推進するため、地域で在住外国人の支援の中心となる者を多文化共生サポーターに任命し、地域での支援活動を進める。

3 これまでの取組状況、改善点

県全域を対象とした国際交流に係る公益法人として、在住外国人及び県民の国際交流支援や多文化共生社会の推進に取り組んでおり、関係機関との更なる連携を進めていく。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7108）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
国際交流員活動費	68,092	66,456	1,636			(雑入) 171	67,921									
トータルコスト	73,649千円（前年度 72,018千円） [正職員：0.7人、非常勤職員：15.0人]															
主な業務内容	国際交流員の雇用、民間国際交流事業への派遣、研修の企画実施等															
工程表の政策目標(指標)	多文化共生社会の構築															
事業内容の説明																
<p>1 事業の目的・概要 JETプログラム（外国青年招致事業）によって招致する国際交流員及び県独自の採用による国際交流員を配置し、地域レベルの国際交流の進展を図り、もって地域の国際化を促進する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 15名の国際交流員を配置し、交流地域との間の交流事業において通訳、翻訳、連絡調整等を行うとともに、小学校、公民館等の要請を受けて国際理解講座等を実施し、地域住民の国際理解の推進を図る。 (2) 県内に配置された国際交流員、外国語指導助手を対象に、県主催で新規来日者説明会、中間研修、通訳・翻訳研修（国際交流員のみ対象）などの研修を実施し、参加者の能力向上や業務の円滑化を図る。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 香港航空の米子－香港便やエアソウルの米子－ソウル便に係る利用促進への対応、平成30年度に締結した台湾台中市との友好協定の他、地域や県の国際関連事業の推進に取り組んでいる。 ≪国際交流員の地域別内訳≫ 韓国5名、中国3名、ロシア2名、モンゴル1名、英語圏2名、台湾2名 計15名</p>																
国内交流推進事業	1,482	741	741				1,482									
トータルコスト	4,657千円（前年度 3,919千円） [正職員：0.4人]															
主な業務内容	市町村等が実施する国内交流事業等への人的支援や助言、補助金業務及び県外の鳥取県人会等との協働による情報発信等															
工程表の政策目標(指標)	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進															
事業内容の説明																
<p>1 事業の目的・概要 交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、全国各地の地域等と県内の市町村や民間団体との交流を推進する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 国内交流補助金（1,000千円）（最大2年間支援可能）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">対象事業</td> <td>・新たに行う国内交流事業（既存の交流分野の拡大を含む） ・鳥取県発祥の伝統芸能等を継承している地域との国内交流事業 ・【拡充】新たな国内交流先を模索するための初期活動事業</td> </tr> <tr> <td>事業実施主体</td> <td>県内市町村（複数市町村による連携含む）及び民間団体</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2（上限額 500千円）</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>事業を実施するために必要な経費（旅費、謝金、委託料、使用料等）</td> </tr> </table> <p>(2) 市町村、県外県人会等との協働による情報発信（482千円） 県外で開催される催事等における情報発信を実施</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 国内交流の推進、県外で継承されている鳥取県発祥の伝統芸能等の継続発展を支援している。また、県外県人会等との協働による効率的な情報発信等を実施する。</p>									対象事業	・新たに行う国内交流事業（既存の交流分野の拡大を含む） ・鳥取県発祥の伝統芸能等を継承している地域との国内交流事業 ・【拡充】新たな国内交流先を模索するための初期活動事業	事業実施主体	県内市町村（複数市町村による連携含む）及び民間団体	補助率	1/2（上限額 500千円）	補助対象経費	事業を実施するために必要な経費（旅費、謝金、委託料、使用料等）
対象事業	・新たに行う国内交流事業（既存の交流分野の拡大を含む） ・鳥取県発祥の伝統芸能等を継承している地域との国内交流事業 ・【拡充】新たな国内交流先を模索するための初期活動事業															
事業実施主体	県内市町村（複数市町村による連携含む）及び民間団体															
補助率	1/2（上限額 500千円）															
補助対象経費	事業を実施するために必要な経費（旅費、謝金、委託料、使用料等）															

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7108）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
交流ネットワーク活用事業	51,157	51,622	△465			(収益事業収入) 6,000	45,157	
トータルコスト	68,621千円（前年度 71,485千円） [正職員：2.2人]							
主な業務内容	海外へ向けた情報提供業務の委託、北東アジア地域等との交流、海外県人会との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 鳥取県とゆかりのある交流組織等を活用し、鳥取県情報の発信を行い、交流の活発化を図る。								
2 主な事業内容								
(1) 世界とっとりファンクラブ会員等への情報提供等委託（800千円）：会員（国際交流員等で県内に滞在した外国人）へ鳥取県の情報を提供し、鳥取県をPRする。								
(2) （一財）自治体国際化協会の分担金（6,000千円）：海外共同事務所運営費用等に係る分担金を負担する。								
(3) 海外県人会助成事業（1,035千円）（補助率10/10）：海外の3つの県人会の活動に助成する。								
(4) 青少年国際協力支援事業（400千円）（補助率10/10）：青年海外協力隊鳥取県OV会が開催する帰国報告会の開催等に助成を行う。								
(5) 北東アジア地域等への各種訪問団派遣及び各国からの各種訪問団の受入等に機動的に対応するための事務的経費（12,460千円）								
(6) 標準事務費（30,462千円）								
3 これまでの取組状況、改善点 世界とっとりファンクラブ各会員、海外サポーターには口コミやSNS等で鳥取県の情報を広くPRしていただいている。また、予算計上のない臨時的な交流事業に対しても、迅速かつ機動的に対応することができ、友好交流地域との更なる友好増進に寄与している。								
パスポート発給事務費	31,301	31,145	156			(手数料) 20,000	11,301	
トータルコスト	45,589千円（前年度 45,446千円） [正職員：1.8人]							
主な業務内容	旅券に係る申請受付・審査・作成及び交付等							
工程表の政策目標(指標)	円滑な旅券発給業務の推進							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 旅券法に基づく法定受託事務である旅券の申請受理、作成及び交付に関する事務を、一部民間に委託して実施する。								
2 主な事業内容								
県庁・中部総合事務所・西部総合事務所及び権限移譲をしている倉吉市役所・境港市役所・日南町役場・日野町役場・江府町役場の8箇所窓口を設け、県民からの一般旅券申請の受理、審査、作成及び交付を行う。〔平成29年度9月補正において債務負担行為設定（平成30～34年度）〕								
○委託業務の概要								
①委託対象業務								
・電話案内、申請・交付窓口業務（県庁・中部総合事務所・西部総合事務所）								
・旅券作成業務（全窓口分）								
②委託期間：平成30年4月1日から平成35年3月31日まで5年間（平成30～34年度）								
※参考：委託対象外業務。 旅券作成の最終審査業務及び慎重、迅速かつ適正な対応が特に必要とされる高度な業務								
3 これまでの取組状況、改善点 窓口従事者の研修等により住民利便の向上を図った。								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7108）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	133,836	127,998	5,838				133,836	
事業内容の説明								
一般職員19名分の人件費である。								
（終了）「2018台中国際花の博覧会」参加事業	0	13,069	△13,069					
トータルコスト	0千円（前年度 17,836千円）							
事業内容の説明								
（終了）平成30年度単年度事業として実施したため								
（終了）「ロシアにおける日本年・日本におけるロシア年」交流促進事業	0	8,000	△8,000					
トータルコスト	0千円（前年度 10,384千円）							
事業内容の説明								
（終了）平成30年度単年度事業として実施したため								
（終了）日本人ブラジル移住110周年記念事業	0	1,949	△1,949					
トータルコスト	0千円（前年度 4,333千円）							
事業内容の説明								
（終了）平成30年度単年度事業として実施したため								
（終了）米国バーモント州交流10周年記念事業	0	2,775	△2,775					
トータルコスト	0千円（前年度 4,364千円）							
事業内容の説明								
（終了）平成30年度単年度事業として実施したため								

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが・アニメツーリズム推進事業	34,943	33,419	1,524				34,943	
トータルコスト	41,293千円(前年度 39,775千円)〔正職員:0.8人〕							
主な業務内容	企画、連絡調整、展示会出展・運営、補助金審査・交付、委託契約事務							
工程表の政策目標(指標)	誘客につながるまんが王国とっとりの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

まんが・アニメを活かした本県の情報発信や国内外からの誘客を促進するため、本県ゆかりのまんが・アニメとタイアップしたプロモーションや県内周遊の仕組みづくりなどを行う。

2 主な事業内容

(1) マンガ「四十七大戦」とのタイアップ事業(3,240千円)

鳥取県が主人公の都道府県擬人化バトルマンガ『四十七大戦』とタイアップし、本県の魅力を情報発信する。

○タイアップによる本県の情報発信、バスツアー造成支援等による本県への誘客促進

(2) 本県ゆかりの人気アニメ番組とのタイアップ事業(10,800千円)

本県ゆかりの人気アニメ番組とタイアップすることで本県の魅力を全国発信する。

(3) まんが王国とっとり満喫周遊パス発行事業(2,500千円)

県内のまんが関連・観光施設の入館料とスタンプラリーをセットにした周遊パスを発行し、インバウンド観光を推進する。

○対象国、地域:韓国・香港・台湾 ○実施時期:平成31年6月~平成31年12月

○対象施設:水木しげる記念館、とっとり花回廊、青山剛昌ふるさと館、鳥取砂丘・砂の美術館、鳥取二十世紀記念館・なしっこ館、円形劇場くらしフィギュアミュージアム

○パス価格:1,000円(大人小人共通、5歳以下無料)

(4) 空港レンタカーと連携したまんが王国周遊キャンペーンの実施(1,944千円)

鳥取砂丘コナン空港または米子鬼太郎空港でレンタカーを借り、青山剛昌ふるさと館と水木しげる記念館を訪れた際に2番目の施設入館料が無料になるキャンペーンを実施し、マンガ関連施設を中心とした県内周遊を促進する。

○実施時期:平成31年4月~平成32年3月

(5) 海外プロモーション(7,409千円)

海外の集客イベントへの出展、現地政府等との連携などにより、まんが王国とっとりならではの情報発信を行う。

○香港ブックフェア(平成31年7月)への出展

○台中市政府新聞局と連携した「まんが王国とっとり」の情報発信

(6) まんが・アニメ資源活用誘客促進補助金(8,000千円)

まんが・アニメの地域資源を活かして観光誘客の取組を行う市町村等を支援する。

○対象:倉吉市(ひなビタ♪)、境港市(ゲゲゲの鬼太郎)、岩美町(Free!)、北栄町(名探偵コナン)

○補助率:1/2

○上限額:2,000千円

(7) その他(関係団体への参画等)(1,050千円)

3 これまでの取組状況、改善点

○人気まんがやアニメとのタイアップを積極的に進め、情報発信と誘客促進を図る。

○県内のまんが・アニメの聖地をインバウンド推進に活かすため、県内周遊の多様な仕組みをつくる。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

まんが王国官房 (内線: 7801)

1 目 観光費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国とっとり妖怪パワー発進事業	11,000	12,500	△1,500				11,000	
トータルコスト	12,588千円 (前年度 14,089千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施							
工程表の政策目標 (指標)	誘客につながるまんが王国と通りの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

故水木しげる先生の遺業をたたえ、妖怪パワーにより、本県の魅力の発信と観光誘客を推進する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

項目	予算額	内 容
怪フォーラムの開催	5,000	怪遺産地域を有する妖怪先進県の岩手、鳥取、徳島の3県連携事業として、首都圏で妖怪文化発信イベントを開催する。 ・期日 2019年11月30日 (土) (水木氏命日) ・場所 東京都調布市 ・内容 3県知事を交えた妖怪談義、3県芸能披露、3県及び調布市による観光物産PRや特産品飲食ブース等
水木しげる生誕祭の開催	6,000	水木しげる先生のふるさとへの功績の顕彰・共有と観光誘客を図る催事を境港市と共同で開催する。 ・期日 2020年3月8日 (日) (水木氏生誕日) ・会場 境港市ほか ・内容 アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」声優等によるトークショー等
合計	11,000	

3 これまでの取組状況、改善点

- 故水木しげる先生の作品は、幅広い年齢層の多くのファンに愛され、本県の情報発信と観光誘客における大切な財産である。
- 怪フォーラムは、3県連携による情報発信事業として平成24年度から開催してきた。3県持ち回り開催が2巡し、平成30年度は京都で開催した。平成31年度は東京での開催を目指す。
- 水木しげるロード及び水木しげる記念館の入込客数が、アニメの放送開始や水木しげるロードリニューアルの効果で増加している。これも水木先生のふるさと愛の賜物であり、その功績をたたえ、引き続き生誕祭を開催する。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

まんが王国官房(内線: 7.801)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国コナンで誘客促進事業	23,180	19,032	4,148				23,180	
トータルコスト	29,530千円(前年度 25,388千円)〔正職員: 0.8人〕							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施							
工程表の政策目標(指標)	誘客につながるまんが王国とっりの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

名探偵コナンの国内外での高い知名度を活かし、「鳥取=コナン」を発信することで本県への誘客を促進する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

項目	予算額	内 容
名探偵コナンまつりの開催	8,305	まんが王国とっりの夏の恒例イベントとして定着した「名探偵コナンまつり」を開催し、県外からの集客を図る。 ・時期 2019年8月 ・場所 とりぎん文化会館 ・内容 アニメ声優のトークショー等
名探偵コナンイラスト列車の運行	14,875	「名探偵コナン」連載25周年を迎えるのを機に、誕生から7年が経過する名探偵コナンイラスト列車1編成のデザインを全面的にリニューアルし、2編成の運行を継続する。
合 計	23,180	

3 これまでの取組状況、改善点

- 本県出身の漫画家 青山剛昌氏の代表作「名探偵コナン」は、全世界で単行本の総発行部数が2億3000万部を超えるなど、極めて高い人気を誇る作品である。
- 平成30年度に開催した「名探偵コナンまつりinまんが王国とっり」には、定員の3.7倍となる4,647人の県内外のコナンファンから応募があった。鳥取砂丘コナン空港のリニューアルとあわせ「鳥取=コナン」の認知度は高まりつつあり、平成30年度の青山剛昌ふるさと館の入館者数は15万人を超える勢いである。(平成29年度は約12万7千人)
- 名探偵コナンイラスト列車は平成24年度から運行が開始され、平成27年度からは2編成で運行されており、国内外問わず多くの観光客にとって「一度は見たい特別な列車」として広く認知されている。
- こうした流れを維持し、取組を継続・強化することで一層の観光誘客を図る。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
世界が認めた漫画家・谷口ジロー顕彰事業	1,880	5,400	△3,520				1,880	
トータルコスト	2,674千円(前年度 6,195千円)〔正職員:0.1人〕							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施							
工程表の政策目標(指標)	誘客につながるまんが王国とっとりの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

世界的な漫画家である谷口ジロー氏の出身地である本県が、世界各地のファンにとって聖地となることを目指し、地元・鳥取市と連携して、谷口作品の魅力やゆかりの地について定期的に情報発信する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

項目	予算額	内容
谷口ジロー原画展の定期開催	1,880	出身地の鳥取市で谷口ジロー作品の魅力に触れることができるよう、谷口氏の生家にも近い市内のギャラリーで原画展を定期開催する。 ・時期 2019年8月、2020年2月(予定) ・場所 ギャラリー鳥たちのいえ(鳥取市本町) ・内容 テーマごとに谷口作品の原画展示とゲストトークを定期的に開催する。

3 これまでの取組状況、改善点

- 谷口ジロー氏は、水木しげる氏、青山剛昌氏とともに「まんが王国とっとり」を支える巨匠であるが、両氏と異なり、県内にその作品に触れることができる拠点が無い。
- 谷口作品は、フランスをはじめヨーロッパで大変人気がある。本県へのフランス人旅行者はまだ多くないが、隣県には一定数の入り込みがあり、これらを取り込むため、鳥取へ来る必然性をつくる必要がある。
- 境港市(水木しげる)、北栄町(青山剛昌)と並ぶまんが王国とっとりの拠点地域として、鳥取西道路の開通も見据え、地元自治体と協力して谷口ジローファンの受入環境を整える。
- 郷土の誇りとして、その偉大さを共有していくとともに、谷口作品の魅力を発信していく必要がある。

平成31年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (雑入)	一般財源	
まんが王国発ソフト パワー事業	75,507	92,537	△17,030			8	75,499	
トータルコスト	115,197千円(前年度132,262千円)[正職員:5.0人、非常勤職員2.0人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施、市町村・民間との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	誘客につながるまんが王国とっりの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県の強みのひとつであるまんがを活用した「まんが王国とっり」の取組を推進し、国内外に情報発信することで観光誘客につなげるとともに、取組を支える地域文化を醸成する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

項目	予算額	内容																									
国際マンガコンテストの開催	11,924	本県発の国際マンガコンテストを継続開催し、新たな人材の発掘・育成とともに、海外ネットワーク拡大を図る。 ○部門 1コマ漫画、4コマ漫画、ストーリー漫画 ○賞 最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞、U-15賞 ○スケジュール ・作品募集(2019.4~8) ・入賞者発表(2019.12) ・表彰式、作品集発行(2020.2)																									
国際声優コンテスト「声優魂」鳥取大会の開催	3,600	声優をめざす中高校生が夢を実現する機会として、全国規模のコンテストの地方大会を実施する。(予選:7月、本選:8月)																									
まんが王国活動支援補助金	21,800	市町村・民間団体が取り組むまんがを活用した事業を支援する。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>補助率</th> <th>上限額</th> <th>件数</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域拠点形成事業</td> <td>1/2</td> <td>5,000</td> <td>2</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>まんがを活用した地域活性化事業</td> <td>2/3</td> <td>10,000</td> <td>1</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1/2</td> <td>1,000</td> <td>2</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>21,800</td> </tr> </tbody> </table>	区分	補助率	上限額	件数	予算額	地域拠点形成事業	1/2	5,000	2	10,000	まんがを活用した地域活性化事業	2/3	10,000	1	10,000		1/2	1,000	2	1,800	計	-	-	-	21,800
区分	補助率	上限額	件数	予算額																							
地域拠点形成事業	1/2	5,000	2	10,000																							
まんがを活用した地域活性化事業	2/3	10,000	1	10,000																							
	1/2	1,000	2	1,800																							
計	-	-	-	21,800																							
まんが王国活動推進アドバイザー	568	まんがを活用した地域の取組内容を改善し民間主導の活動活性化を図るため、有識者を派遣する。																									
情報発信	25,867	・著作物使用料 ・着ぐるみPR活動 ・情報発信 ・国際マンガサミット事務局との連携 ・日本マンガ学会との連携																									
非常勤職員人件費	2,571	非常勤職員(まんが専門員)1名																									
事務費	9,177	事務用品購入、通信運搬等に要する経費																									
合計	75,507																										

3 これまでの取組状況、改善点

- 平成24年度から国際マンガコンテストを継続開催し、これまでに世界49ヶ国から応募があるなど、世界にコンテストが周知されることで、まんが王国とっりの認知度が高まっている。
- 平成25年度から国際声優コンテスト鳥取大会を継続開催し、地元中学校及び高等学校の学生のレベルが上がるとともに、全国からの鳥取への注目度が高まっている。
- まんが王国活動支援補助金により民間等の取組を支援しており、補助率の見直しやアドバイザーの派遣により活動の自立化を促していく。
- さまざまな主体のマンガを活かした取組と、今後も連携・支援し、まんが王国とっりの認知度向上及び誘客促進に繋げる。

平成31年度当初予算歳入歳出事項別明細書(観光交流局)

(単位:千円)

節 款・項目	2款 総務費						7款 商工費			
	うち観光交流局						うち観光交流局			
	2項 企画費						1項 商業費			
			1目 企画総務費	2目 計画調査費	3目 交通対策費					
1 報酬	574,732	57,174	57,174	57,174			72,257	14,197		
2 給料	3,134,772	72,618	72,618	72,618			382,200	133,770		
3 職員手当等	4,723,968	36,347	36,347	36,347			191,300	66,955		
4 共済費	1,154,431	34,079	34,079	34,079			168,243	48,030		
5 災害補償費	500									
6 恩給及び退職年金	10,020									
7 賃金	22,809									
8 報償費	231,375	1,121	1,121	1,121			379,127	2,958		
9 旅費	226,437	23,355	23,355	23,105		250	60,753	24,952		
費用弁償	23,972	3,565	3,565	3,565			10,474	3,330		
普通旅費	160,993	9,912	9,912	9,912			40,235	19,792		
特別旅費	41,472	9,878	9,878	9,628		250	10,044	1,830		
10 交際費	2,800						200	100		
11 需用費	585,614	9,350	9,350	9,350			47,833	21,050		
食糧費	23,165	4,954	4,954	4,954			9,956	3,848		
その他の需用費	562,449	4,396	4,396	4,396			37,877	17,202		
12 役務費	542,050	8,969	8,969	8,969			46,228	18,879		
13 委託料	5,015,273	315,738	315,738	93,653	135,723	86,362	693,487	333,189		
14 使用料及び賃借料	834,130	15,504	15,504	15,504			145,447	35,726		
15 工事請負費	3,318,118	136,219	136,219		136,219		9,915	9,915		
16 原材料費										
17 公有財産購入費	5,198									
18 備品購入費	167,033						11,503			
19 負担金、補助及び交付金	8,677,918	306,099	306,099	69,679		236,420	10,189,570	606,250		
20 扶助費										
21 貸付金							432,183	8,746	8,746	
22 補償、補填及び賠償金	33,723									
23 償還金、利子及び割引料	170,200									
24 投資及び出資金										
25 積立金	95,734									
26 寄付金										
27 公課費	206									
28 繰出金							23,917			
予備費										
計	29,527,041	1,016,573	1,016,573	421,599	271,942	323,032	12,854,163	1,324,717	8,746	
財源内訳										
国庫支出金	2,369,785	16,297	16,297	10,067		6,230	145,582	45,150		
地方債	5,496,000	139,000	139,000		139,000		117,000			
その他	2,016,457	44,980	44,980	44,980			473,434	16,720	8,746	
一般財源	19,644,799	816,296	816,296	366,552	132,942	316,802	12,118,147	1,262,847		

平成31年度当初予算歳入歳出事項別明細書(観光交流局)

(単位:千円)

節	款 項 目	7款 商工費		観光交流局 合 計	
		うち観光交流局			
		1項 商業費	3項 観光費		
		3目 金融対策費	1目 観光費		
1	報 酬		14,197	14,197	71,371
2	給 料		133,770	133,770	206,388
3	職員手当等		66,955	66,955	103,302
4	共 済 費		48,030	48,030	82,109
5	災 害 補 償 費				
6	恩給及び退職年金				
7	賞 金				
8	報 償 費		2,958	2,958	4,079
9	旅 費		24,952	24,952	48,307
	費用弁償		3,330	3,330	6,895
	普通旅費		19,792	19,792	29,704
	特別旅費		1,830	1,830	11,708
10	交 際 費		100	100	100
11	需 用 費		21,050	21,050	30,400
	食糧費		3,848	3,848	8,802
	その他の需用費		17,202	17,202	21,598
12	役 務 費		18,879	18,879	27,848
13	委 託 料		333,189	333,189	648,927
14	使用料及び賃借料		35,726	35,726	51,230
15	工 事 請 負 費		9,915	9,915	146,134
16	原 材 料 費				
17	公有財産購入費				
18	備 品 購 入 費				
19	負担金、補助及び交付金		606,250	606,250	912,349
20	扶 助 費				
21	貸 付 金	8,746			8,746
22	補償、補填及び賠償金				
23	償還金、利子及び割引料				
24	投資及び出資金				
25	積 立 金				
26	寄 付 金				
27	公 課 費				
28	繰 出 金				
	予 備 費				
	計	8,746	1,315,971	1,315,971	2,341,290
財 源 内 訳	国庫支出金		45,150	45,150	61,447
	地方債				139,000
	そ の 他	8,746	7,974	7,974	61,700
	一般財源		1,262,847	1,262,847	2,079,143

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
2 款	総務費	
2 項	企画費	
1 目	企画総務費	
給料	一般職員	19人
報酬	国際交流員	15人
負担金、補助及び交付金	第25回環日本海拠点都市会議開催支援補助金	3,751
	日韓友好資料館企画運営委員会負担金	200
	吉林省青少年交流事業負担金	1,672
	モンゴル留学生支援補助金	1,940
	モンゴル農業研修員生活支援補助金	224
	自治体国際化協会負担金	1,700
	鳥取県国際交流財団助成事業費補助金	51,792
	国際交流拠点整備費負担金	6,000
	海外県人会活動支援補助金	1,000
	青年海外協力隊帰国報告会開催支援補助金	400
	国内交流補助金	1,000
3 目	交通対策費	
負担金、補助及び交付金	「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援補助金	16,350
	米子-香港国際定期便に係る運航経費補助金	76,750
	国際定期便利用促進協議会負担金	10,000
	米子香港便交流創出支援事業補助金	200
	米子発香港乗継利用促進事業補助金	180
	米子-ソウル国際定期便に係る運航経費補助金	76,256
	但馬版キッズエアサポート事業負担金	200
	空港利用促進懇話会負担金	29,095
	航空エアサポート支援負担金	12,000
	全国地域航空システム推進協議会負担金	129
	鳥取空港ならではの体験メニュー開発支援補助金	300
	鳥取砂丘コナン空港圏域二次交通整備支援事業補助金	6,660
	空港レンタカー助成事業負担金	8,300
7 款	商工費	
1 項	商業費	
3 目	金融対策費	
貸付金	観光開発促進資金貸付金	8,746
3 項	観光費	
1 目	観光費	
給料	一般職員	35人
報酬	鳥取県観光振興指針検討委員	5人
	国際マンガコンテスト審査員	10人
	非常勤職員	7人
負担金、補助及び交付金	(公社) 日本観光振興協会負担金	718
	(公社) 日本観光振興協会全国広域観光振興事業負担金	700
	(公社) 日本観光振興協会中国支部負担金	120
	(公社) 日本観光振興協会観光情報システム分担金	200
	中国地域観光推進協議会負担金	50
	山陰観光連盟負担金	324
	(一社) 日本スポーツツーリズム推進機構負担金	50
	とっとりコンベンションビューロー運営費交付金	28,602
	コンベンション開催助成費補助金	20,000
	(公社) 鳥取県観光連盟運営費負担金	95,226
	ニューツーリズム普及促進支援補助金	5,500
	ニューツーリズム普及促進支援補助金 (星取県推進型)	4,000

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
7 款	商工費	
3 項	観光費	
1 目	観光費	
負担金、補助 及び交付金	教育旅行誘致推進事業補助金	5,000
	体験型教育旅行誘致促進業務補助金	5,739
	デジタルスタンプラリー負担金	605
	温泉地魅力向上事業負担金 (いなば温泉郷協議会)	1,310
	温泉地魅力向上事業負担金 (皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会)	6,000
	着地型観光・体験情報発信事業補助金	3,132
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金 (バス旅行商品支援)	30,000
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金 (旅行商品造成支援)	7,500
	「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金 (観光パスポート作成支援)	2,000
	鳥取・岡山広域観光協議会負担金	1,000
	「ディスカバーウェスト」連携協議会負担金	5,000
	鳥取自動車道活性化協議会負担金	900
	NEXCO西日本連携キャンペーン負担金	420
	JAFと連携した観光キャンペーン連携事業負担金	605
	鳥取県観光二次交通運行支援補助金	19,200
	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金	15,000
	インバウンド向け路線バス乗り放題パスポート補助金	1,600
	イルミネーション支援補助金	7,500
	鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金	8,000
	米子駅外国人観光案内所運営事業補助金	2,074
	鳥取県外国人観光客送客促進事業補助金	40,920
	鳥取県外国人観光客誘致対策事業補助金	2,000
	国際定期便利用促進協議会負担金	1,100
	台湾市場誘客事業 (ビジットジャパン・地方連携事業) 負担金	1,000
	中国地区インバウンド誘致強化委員会負担金	3,500
	中国地方インバウンドフォーラム負担金	4,300
	京都・兵庫・鳥取三府県広域観光交流圏推進実行委員会負担金	1,000
	関西国際空港内広域観光案内推進協議会負担金	800
	東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,300
	国際観光振興機構負担金	660
	東京・中国四国連携外国人旅行者誘致事業負担金	820
	山陰・瀬戸内・四国ドライブキャンペーン負担金	500
	JR西日本連携事業負担金	2,000
	鳥取県外国人観光客倍増促進補助金	1,000
	(一社) 山陰インバウンド機構運営事業負担金	100,000
	サイクルトレイン・サイクルバス普及推進事業補助金	500
	中国知事会サイクリング部会負担金	1,000
	山陰観光連盟山陰路部会負担金	2,000
	鳥鉄の旅魅力造成支援補助金	3,000
	東浜周辺整備負担金	1,267
	(一社) アニメツーリズム協会負担金	150
	まんが・アニメ資源活用誘客促進補助金	8,000
	アニメ番組タイアップ事業負担金	10,800
	まんが王国周遊キャンペーン推進補助金	540
	怪フォーラム開催3県実行委員会負担金	4,000
	谷口ジロー原画展企画運営実行委員会負担金	1,880
	まんが王国活動支援補助金	21,800
	国際マンガサミット参加負担金	100
	日本マンガ学会負担金	10

節 の 明 細

項	目	金額(千円)等
7款	商工費	
	3項 観光費	
	1目 観光費	
	負担金、補助及び交付金	
	鳥取県櫻杯争奪相撲選手権大会支援補助金	400
	フラダンス全国大会開催支援事業補助金	3,000
	鳥取中部圏域広域観光連携推進事業補助金	15,000
	鳥取中部ふるさと広域連合への県職員駐在に係る庁舎負担金	80
	SUN-IN未来ウオーク開催支援事業補助金	1,000
	SUN-IN未来100kmウオーク開催支援補助金	1,000
	大山山麓・日野川流域観光推進協議会負担金	80,601
	湯ったりだいせん足湯整備費補助金	193
	参道拠点整備事業補助金	2,893
	全日本トライアスロン皆生大会開催支援補助金	5,000
	皆生・大山SEA TO SUMMIT開催事業補助金	1,000
	鳥取県体育施設協会負担金	11
	中海オープンウォータースイム開催支援補助金	500
	弁慶ライド開催支援補助金	500
	日野郡ニューツーリズム推進事業補助金	1,050

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度未までの支出額又は
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

当該年度提出に係る分(消費税率変更分)

事 項	限 度 額	前年度未までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳					
		期 間	金 額	期 間	金 額	国庫支出金	特 定 財 源			一般財源	
							地方債	その他	その他		
平成31年度 ユニバーサル情報共有アプリ 情報発信委託	千円 16		千円 16	平成32年度	千円 16	千円	千円	千円	千円	千円	16
平成31年度 バスポート発給業務委託	1,725			平成32年度から 平成34年度まで	1,725						1,725

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事 項	限 度 額 千円	前年度末までの支出(見込)額 千円		当該年度以降の支出予定額 千円		左の財源内訳				
		期 間	金 額	期 間	金 額	国庫支出金 千円	特 定 財 源			一般財源 千円
							地方債 千円	その他 千円	その他 千円	
平成28年度 参道にぎわい活性化支援事業補助	36,380	平成29年度から 平成30年度まで	5,785	平成31年度から 平成38年度まで	30,595					30,595
平成28年度 特別寝台列車誘致事業補助	13,928	平成29年度から 平成30年度まで	2,534	平成31年度から 平成39年度まで	11,394					11,394
平成29年度 バスポート発給業務委託	155,725	平成30年度	31,013	平成31年度から 平成34年度まで	124,049			80,000		44,049
平成30年度 鳥取県立夢みなとタワー管理委託	622,895			平成31年度から 平成35年度まで	622,000					622,000
平成30年度 ユニバーサル情報共有アプリ情報 発信委託	1,728			平成31年度から 平成32年度まで	1,728				1,728	